

セ×30 73

島根縣編纂

島根縣令規類纂

中卷

發行所

博廣社



CZ  
1113  
86-03



嶋根縣令規類纂中卷目次

○第六類

兵事

徵兵

召集事務

徵發事務

備後備歸休兵

籍名簿

籍番號

籍登記

入籍

留別居附籍

籍者編籍及誤謬訂正

戶籍規程

製表

雜

寺

官幣社

縣鄉村社

縣鄉村社

縣鄉村社

縣鄉村社

二七二	二五三	二四八	二三三	二二三	二二二	二二一	二一四	一八八	一七八	一七三	一六八	一五八	一〇一	二〇一	一一一
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----





寺院 二八三  
 宗教 二八六  
 雜 二八八

○第七類

國費 三一六  
 檢查 三二七  
 歲入 三五七  
 歲出 四三二  
 財產 四三五  
 雜 四六三

縣費 五三〇  
 歲入 五三七  
 歲出 五四五  
 財產 五五二  
 雜 五六三

○第八類

農工商 五五五  
 農會 五五五  
 農事試驗附種畜 五五八  
 種苗類購求 五五九  
 蟲害預防 五六三

蠶絲業 五六五  
 種畜 五七八  
 獸醫踏鐵工 五九二  
 水產業 五九七

山林 六一四  
 鑛業 六二八  
 度量衡 六三一

牛馬市 六三八  
 運輸交通 六四二  
 渡船營業 六四三

船舶附海員 航路標識 六四七  
 勸業諮詢會博覽會共進會 六五三  
 勸業展覽場 六五七

統計報告 六六三  
 組合 七一六  
 銀行會社 七一六  
 移住 七三六  
 雜 七三四



# 島根縣令規類纂中卷

## ○第六類

### 兵事

#### 徵兵

●乙第百三十六號

明治十八年十月九日

郡役所 戶長役場

正當之故ナシ徵集ニ應セス若クハ徵集ニ洩レ年齡三十二歳ヲ超過シ發覺ノ者ハ其時々陸軍省ニ經伺之上以分  
致來候處自今年齡滿四十歳迄ハ經伺ヲ要セス直ニ徵集スヘキ等ニ候條爲心得此旨相違候事

●訓令第九十三號

明治二十一年六月十五日

隱岐島廳 郡役所 戶長役場

徵兵令ニ依リ徵集シタル海軍現役兵滿期歸郷シタルトキハ其日ヨリ三日以内ニ戶長ニ届出テメ戶長ハ之ヲ  
島司又ハ郡長ニ届出テ島司郡長ハ其旨常廳ニ報告スヘシ

●訓令第百十七號

明治二十一年七月二十四日

島廳 郡役所 戶長役場

志願兵現役中傷病疾病水久共役ニ堪ヘサル其他ノ事故ニ依リ三年未滿ニシテ該役ヲ免シ豫備役若ハ後備役ニ編入  
セザル者ハ更ニ檢査所ニ呼出シ身體檢査ノ上徵否ヲ判定スヘシ

但常備年期ノ第七年檢査時限ヲ經過シタル者ハ此限ニ在ラス

●縣令第百十七號

明治二十二年十月十二日

新兵豫備徵員及豫備役後備兵役ノ者願屆書ハ自今凡テ市長及戶長町村長ニ送山シ戶長ハ島司町村長ハ郡長ニ  
送達シ島司郡市長ハ之ヲ監視區長ニ送付スヘシ

但監視區長ヨリ各兵員ニ達スヘキモノニアラモ本文ノ手續ニ準テ取扱フモノトス

●縣令第百二十六號

明治二十二年十二月二日

●第六類 ○兵事 ○徵兵



廿六年訓令  
第七十四號  
第十八號  
第四十六號  
參照

附籍者ニシテ徵兵適齡ノトキハ戸主ト家族ヲ問ハス戸主ヨリ家族ノニ他ノ附籍ノ場合ニ在リテハ本籍戸主ヨリ徵兵令第二十五條ノ屆書ヲ差出シ本籍ノ徵集區ニ於テ徵集ニ應スヘシ

●訓令第百八十九號 明治二十二年十月五日  
明治二十二年以前ノ徵兵相當者ニシテ失踪逃亡ノ爲メ徵集ニ應セサル者ヲ取調從前ノ先入兵名簿書式ニ準シ其人名簿ヲ調製シ本月三十一日限リ當廳ニ差出可シ  
但本文名簿進達後所在發見シタルトキハ其都度届出可シ

●島根縣訓令第百二十六號 明治二十四年八月二十二日  
島根縣 郡役所 市役所  
戶長役場 町村役場  
明治二十二年三月勅令第四十三號憲兵條例第三十三條第一項ニ依リ現役免除ヲ願フ者其事故父兄ノ死亡處刑若シハ失踪等ハ市長戸長町村長ノ證明書發給不具等ハ醫師ノ診斷書ヲ其親族ヨリ本人ニ送付セムヘシ

●島根縣訓令第百四十七號 明治二十五年九月二十四日  
島根縣 郡役所 市役所  
戶長役場 町村役場  
明治二十二年十一月訓令第二百三十五號徵兵事務取扱心得其筋ニ協議ノ上別冊ノ通改正ス

●徵兵令(以下準ニ) 第二十五條ノ徵兵適齡届ハ第一書式第四十六條ノ異動届ハ第二書式ニ據ラセムヘシ  
●住所區畫ニハ大字ヲ加記シ寄留者ハ左ノ例ニヨリ記入スヘシ  
●職業ハ概テ左ノ名稱ニ準スルモノトス  
全縣全國神門郡今市町大字今市村寄留

農、商、醫師、神職、教導職、僧侶、靴工、縫工、木工、石工、竹工、船工、車工、鍛工、靴工、桶工、泥工、馬具職、根職、茅屋根職、木挽職、指物職、建具職、穴穿職、棒削職、餅職、袖職、鑽夫、鰯師、舟夫、漁夫、車夫、馬丁、官吏、教員、市(町)吏、雜業

○直接國稅ハ圓位以下モ記入シ又戸主家族各家屋ヲ有シ若シハ直接國稅ヲ納ムル時ハ戸主及家族家屋ヲ有ス戸主及家族直接國稅何圓ヲ納ムト記スヘシ  
○刑罰、家屋、直接國稅ニ關スル記事ナキモノハ其旨ヲ記入スルニ及ハス  
○本簿ノ記註ハ指書ヲ用ユルモノトス

第三條 細則第二條ノ人名書ハ第三書式ニ據ルヘシ  
第四條 島司郡長ニ於テ徵兵事務條例(以下準ニ) 第二十三條ニ據リ壯丁名簿ノ點檢ヲナストキハ島司ハ島郡長ハ町役場備置ノ戶籍簿ニ照合スヘシ  
第五條 細則第三條ノ人員報告書ハ第四書式ニ據リ毎年三月五日迄ニ發送スヘシ  
第六條 島司郡市長ニ於テ條例第二十五條第二項ノ告示ヲナシタルトキハ大隊區徵兵參事員ニ徵兵署又ハ徵兵検査所開始前送着スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第七條 大隊區徵兵署及徵兵検査所ノ門標ハ左ノ如ク認ムヘシ  
松江大隊區徵兵署  
松江大隊區何徵兵検査所

第八條 壯丁身体検査ノ違背ハ第五書式ニ據ル尤モ島司郡長ハ戸長町村長ヲシテ傳達セムヘシ但壯丁ヨリ差出タル受書ハ市町村吏員徵兵署又ハ徵兵検査所ニ出頭ノ際携帶スヘシ  
第九條 市町村吏員壯丁ヲ引繼シ徵兵署又ハ徵兵検査所ニ出頭シタルトキハ其氏名ヲ列記セル出頭届ヲ差出スヘシ

第六類 徵兵



第十條 検査ノ期ニ近ツキ他行出稼ノモノアルキハ市長戸長町村長ニ於テ便宜呼戻ノ手續ヲナシ檢査ニ差支ヘサル様注意スヘシ

第十一條 條例第六十四條ノ不参届ハ第六書式ニ據ラシムヘシ但全戸逃亡失踪等ニテ親族モナク届出シナスモノナキハ市町村吏員其事由ヲ報告スヘシ

第十二條 壯丁名簿進達后抽籤前令第四十六條ニ該リ徵集ニ應スヘキ者アルトキハ戸長町村長ハ其時々壯丁名簿ヲ作り事由報告書ト共ニ島司郡長ニ差出スヘシ

第十三條 令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期若シハ徵集猶豫中他ノ徵募區ニ轉籍スル者アルトキハ戸長町村長ハ島司郡長ニ報告シ島司郡市長ハ其名簿ヲ添へ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ但失踪逃亡其他ノ事故ニ依リ翌年回トナリタルモノニテ他ノ徵募區ニ轉籍スルトキ亦同シ

令第二十七條ニ據リ翌年回トナリタル壯丁異動アルトキハ其都度戸長町村長ハ島司郡長ニ報告シ島司郡市長ハ之ヲ大隊區司令官ニ通知スヘシ

第十四條 公權停止中ノ確証アル者ハ身体検査ノ指定ヲナサハルモノトス但監視中ニテモ其年十一月三十日以前滿期トナル者ハ此限ニ非ラス

第十五條 細則第八條ニヨリ現役ヲ志願セントスルモノアルトキハ第七書式ニノ願書ヲ添出サシムヘシ前項ノ景況書ハ概テ左ノ事項ヲ調査シ第七書式ニノ具申書ヲ差出スモノトス

- 一 本人ノ志操
- 一 貧富ノ度
- 一 家族故障ノ有無

第十六條 前條ノ現役志願者ハ壯丁名簿欄外上部ノ左傍ニ志願ノ二字ヲ朱記シタル小箋ヲ付スヘシ

第十七條 條例第六十二條ニ依リ徵集延期出願者及徵集免除届出者ナル時ハ市長戸長町村長ニ於テ事實届ト

取調左ノ調査ヲ願書ニ添付シ戸長町村長ハ尙意見ヲ附申スヘシ但同條ノ願書ハ總テ第八書式保証書ハ第九書式ニ據ラシムヘシ

- 一 戸籍寫
- 一 職業ノ現狀
- 一 諸般ノ收入金
- 一 財産調
- 一 國稅地方稅町村稅(町村費)ノ納額(種類ヲ區分ス)
- 一 公ノ救助ヲ受ケタル金額及書類ノ寫

右ノ外自活ニ能ハサル証明ノ材料トナルヘキモノ

第十八條 條例第五十三條第六十八條ニ依リ徵集延期若クハ現役免除出願者アルトキハ戸長町村長ハ前條ニ依リ調査及意見書ヲ島司郡長ニ差出スヘシ

第十九條 前二條ノ出願者及届出者アル時島司郡市長ハ主任吏員ヲ派遣シ實地ノ情況ヲ調査セシムルモノトス但第十九條ノ場合ニ於テ其調査ヲ願書ニ添付スヘシ

第二十條 令第二十六條及細則第四十五條ノ願ハ第十書式ニ據ラシムヘシ但壯丁名簿進達前本文ノ出願者アルトキハ戸長町村長ハ其壯丁名簿ヲ願書ト共ニ島司郡長ニ差出スヘシ

第二十一條 令第二十條ニ當リ徵集延期及徵集免除ニ關シ大隊區徵集事務員ノ意見ヲ徵スルハ概テ左ノ例ニ據ルヘシ

別紙何某外何名ハ徵兵令第二十條ニ據リ徵集延期願(届)出候ニ付事實取調候處別紙之邊候條審議ノ上意見具中相成度候也

年 月 日

松江大隊區司令官 氏 名 印  
島根縣島司郡市長 氏 名 印



松江大隊區徵兵參事員宛

第二十二條 細則第十三條第一項ノ徵兵検査名簿冊尾ノ署名其他總テ署名ヲ要スル者ハ左ノ如ク記載スヘシ  
松江大隊區司令官 氏 名 印  
島根縣島司郡市長 氏 名 印

第二十三條 細則第十三條第二項ノ公權停止中若シハ逃亡失踪中ノ者ハ壯丁名簿假決欄内ヘ左ノ如ク記載スヘシ  
但徵集次年ニ至リ事故尙同様ナル時ハ何年同斷ト記載スヘシ  
明治何年公權停止中ニ依リ徵集延期  
明治何年逃亡(失踪)中ニ依リ徵集延期

第二十四條 検査后抽籤前逃亡失踪者復歸又ハ他出者歸宅若シハ疾病快癒事故解決又ハ検査未済ノ地ヨリ入籍セシモノ若クハ異動ニ依リ徵集スヘキモノアルトキハ戶長町村長ヨリ其事出テ速ニ島司郡長ニ報告スヘシ  
逃亡失踪他出ノ者復歸シタルトキハ其逃亡失踪他出中ノ事由書テ徵兵前項報告書ニ添付スヘシ但抽籤后翌年検査前ニ係ル者ノ事由書ハ其時々島司郡長ニ差出スヘシ

第二十五條 島司郡長前條ノ報告ヲ受ケ市長前條ニ當ル者アルトキハ細則第十七條ニ據リ他ノ徵集區ノ大隊區徵兵署若クハ徵兵検査所ニ回シ検査ヲ受ケシムヘシ此場合ニ於テハ出頭セシムヘキ徵兵署又ハ徵兵検査所ヘ壯丁名簿ヲ添ヘ通知スヘシ但市町村定員ハ付添出頭スヘシ

第二十六條 細則第十七條ノ犯罪者ニシテ令第十九條ニ當ラザルトキハ受檢セシムヘシ他出者ヨリ歸宅セサル者ハ細則第十三條第二項ノ處分ヲナスモノトス

第二十七條 公權停止中及逃亡失踪ノ者ニハ徵集延期證書一年志願兵出願中及認可ヲ受ケタルモノニハ徵集猶豫證書ヲ付與セザルモノトス

第二十八條 徵兵諸名簿表紙ハ左ノ如ク記載スルモノトス

年 號
何 種 何 兵 (何 卒) (何 工) (徵 集 免 除) (兵 役 免 除) (檢 査 名 簿)
何 郡 (市)
(徵 集 免 除 名 簿) (兵 役 免 除 名 簿) (檢 査 名 簿)

兵種毎ニ各別冊ニ調製スヘシ

徵集免除名簿ハ甲乙種ヲ一冊ニ丙種ヲ一冊ニ編綴スヘシ

第二十九條 徵集延期及徵集猶豫人員報告ハ第十一式ニ據ルヘシ

第三十條 令第二十八條ニ當ル者アルトキハ大隊區徵兵官ハ宣告書若クハ刑名通知書又ハ已決犯罪表寫ヲ添ヘ旅管徵兵官ヘ具申スルモノトス

第三十一條 旅管徵兵官ニ差出スヘキ書類ハ渾テ美濃野紙ヲ用ユヘシ

第三十二條 島司郡市長ニ於テ條例第三十三條第二項ノ告示ヲナシタルトキハ抽籤總代人ヨリ旅管徵兵署ニ出頭スヘキ旨ヲ達スヘシ

第三十三條 籤丁名簿ハ美濃白紙縦八ツ切ニシテ左ノ如ク記シ島司郡市長ニ於テ調製スヘシ但本文名簿ハ兵種ヲ區別シ易キヲメ検査名簿ニ據リ姓名上部ニ甲(乙)步騎砲工輜及何職工砲卒又ハ水火何卒ノ文字ヲ刻シタル小印ヲ捺スヘシ

甲(乙)步 郡(市)町(村)大字 氏 名



第三十四條 令第四十六條第三項相當者ニシテ適齡當時徵集猶豫ノ資格アリ尙繼續スル者ハ徵集延期スヘキモノニ付島司郡市長ニ於テ當時ノ相當名簿ニ追加スヘシ

第三十五條 徵兵検査及抽籤ノ際事務繁劇ナルトキハ事務員又ハ事務補助員ノ外島司郡市役所吏員ヲ以テ事務ノ補助ヲナサシムルコトヲ得

第三十六條 令第二十五條若シハ第四十六條ノ届出ヲナサハル者アルトキハ戶長町村長ニ於テ各費ノ手續ヲナシ其旨島司郡市長ニ報告スヘシ

第三十七條 細則第二十八條及第三十條中ノ報告ハ戶籍ノ届書其他ニ據リ取扱フモノトス但細則第二十八條第一項但書及第二項ノ報告書ニハ島司郡市長ニ於テ検査名簿ノ種別ヲ付記スヘシ

細則第十三條第二項ニ當ルモノ及明治二十二年三月訓令第五十二號第三項ニ當ルモノ、異動モ戶長町村長ヨリ島司郡市長ニ報告スヘシ

第三十八條 島司郡市長ニ於テ名簿ニ訂正ヲ加フルニハ墨字ヲ以テシ朱ノ一線ヲ用ヒ消抹スヘシ又名簿ヲ全ク除去スルモノニアリテハ朱ノ二線ヲ畫シ共ニ主任認印スヘシ

第三十九條 一徵集區ノ徵兵検査終レハ大隊區徵兵署ニ於テ第二書式ノ徵兵採收表ニ通シ製シ大隊區司令官島司郡市長各一通ヲ領シ異動アル毎ニ訂正スヘシ

第四十條 條例第四十九條第五十四條第五十五條第五十八條第五十九條第六十五條ノ入管延期轉籍寄留旅行疾病傷痕犯罪等ノ願届書及診斷証書ハ第十三乃至第十七書式ニ據ラシムヘシ但島司郡市長ニ於テ條例第六十五條ノ届書ヲ監視區長ニ送付シタルトキ同時ニ其氏名及事由ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第四十一條 條例第五十四條第五十八條ノ轉籍者ハ舊住地戶長町村長ニ於テ戶籍ノ入籍報知受領同時ニ島司郡市長ニ報告スヘシ

第四十二條 市長戶長町村長ニ於テ明治二十二年十月縣令第十七號ニ據リ條例第五十四條第五十八條ノ届書ヲ受領シ又ハ細則第二十八條末項ノ報告ヲナストキハ新兵若シハ豫備徵員証書ヲ引揚ケ訂正セテ之ヲ本人ニ送付シ届書送達又ハ報告ト同時ニ其旨監視區長ニ報告スヘシ但新兵及豫備徵員証書ノ訂正ハ新住地ニ於テスヘシ故ニ同監視區内ニ係ル者ハ特ニ訂正済ノ報告ヲナスモノトス尤モ豫備徵員他ノ徵集區ヨリ轉籍スルトキハ其屆書ニ豫備徵員証書ヲ添ヘ監視區長ニ送達スヘシ

前項前段ノ事項ハ舊住地ノ島司郡市長ハ新住地ノ島司郡市長ニ通知シ其通知ヲ受ケタル島司郡市長ハ之ヲ戶長町村長ニ通達スヘシ但島司郡市長及一郡役所管内ニ係ルモノハ舊住地ノ戶長町村長ヨリ新住地ノ戶長町村長ニ通知スヘシ

第四十三條 島司郡市長ニ於テ細則第四十四條ノ証書渡方ノ請求ヲ受ケタルトキハ縣廳ニ申出之ヲ請取リ交付スルモノトス

第四十四條 島司郡市役所戶長役場ニ於テハ豫備徵員名簿式ヲ備置キ異動アル毎ニ加除訂正スヘシ

第四十五條 凡ソ徵兵ニ關スル願届其他付屬書類ハ一通トシテ紙質ヲ示サハルモノハ深ア半紙野紙ソ用ユ又ハ用ササスヘシ

第四十六條 毎年現役兵トシテ徵集シ又ハ豫備徵員ヨリ現役兵ニ繰上ケタル者アルトキハ戶長町村長ハ速ニ各自ノ戶籍寫ヲ島司郡市長ニ差出スヘシ

戶長町村長ハ前項ノ戶籍寫差出シ後本人ノ入管前本人及妻子父母祖父母兄弟姉妹並住所ニ關スル異動アルトキハ其時々之ヲ島司郡市長ニ報告スヘシ

島司郡市長前項ノ報告ヲ受ケ市長前項ニ當ル者アルトキハ其都度之ヲ大隊區司令官ニ通知スヘシ

明治二十四年二月陸軍省訓令甲第一號ノ現役兵戶籍寫ヲ島司郡市長ヨリ大隊區司令官ニ送附スルハ其年十一月十日ヲ過クヘカラス但豫備徵員ヨリ現役兵ニ繰上ケタル者ノ戶籍寫ハ其都度送付スヘキモノトス

第四十七條 品行方正ニシテ近衛諸兵ニ適當シ及普通ノ學力ヲ具ヘ上等兵ニ適當スト認ムル者ハ市長戶長町

●第六類 ●兵事 ●徵兵

九



村長ニ於テ取調戸長町村長ハ壯丁名簿送達ノ際之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡市長ハ徵兵検査ノ際之ヲ大隊區司令官ニ通知スヘシ  
第一書式

徵兵適齡屆

郡市町村大字番屋敷

華士族平民職業

某長次男兄弟戸主

氏

年月日生名

右本年何月二十歳ニ相成候間此段及御届候也

右戸主(本人戸主ナレハ)  
(主ノニ字ナラバ)

氏

名印

年 月 日

市長戸長町村長

氏 名 殿

戸主不在新成其他ニ於テ代理スル時ハ右戸主某代理ト肩書スヘシ  
第二書式

徵兵異動屆

郡市町村大字番屋敷

華士族平民職業

某長次男兄弟戸主

氏

名

右明治何年徵兵適齡ノトキ郡町(村)番屋敷何某妻嗣子ニテ舊徵兵令第十七條ニ當リ徵集延期ノ成年月日該家離縁復籍候間此段及御届候也

年月日生

右戸主(本人戸主ナレハ)  
(戸主ノニ字ナラバ)

氏

名印

年 月 日

市長戸長町村長

氏 名 殿

戸主不在親戚其他ニ於テ代理スルトキハ戸主某代理ト肩書スヘシ  
第二書式

壯丁名簿外人名書

郡市町村大字

華士族平民職業

某長次男兄弟戸主

氏

年月日生名

何罪ニヨリ年月日某裁判所宣告重(輕)懲役何年

同

同

同

同

同

何年志願

何師團何兵第何聯隊(何兵第何大隊)ニ於テ  
年月日現役ヲ終フ



何年志願	同				
近衛何兵衛何聯隊在役中	同				
年月日入團(廠)	同				
陸軍教導團(砲兵工廠木工)生徒	同				
何年志願	同				
何鎮守府在役中	同				
右之通り相違無之候也	同				
第四書式	市長戸長町村長	氏	名	印	
一總員	何	人			

明治島廳郡市役所々轄内壯丁人員報告書

本年徵集者	何	人	徵兵署	何郡何町
一年志願者	何	人	内逃亡失踪	何
前年假決者	何	人	内逃亡失踪	何
計	何	人	徵兵検査所	何郡何村
本年徵集者	何	人		
一年志願者	何	人		
前年假決者	何	人		
計	何	人		
右及報告候也				
年 月 日			島郡市長	氏 名 印
松江大隊區司令官氏名殿				
其年三月一日ノ現在數ヲ調査スルモノトス				
徵兵令第七條第二十五條但書相當者及他ノ徵募區ニ於テ應徵許可ノ者ハ之ヲ除キ第三十一條相當者ノ如キ				
ハ検査ヲ要セサルモ尙算入スルモノトス				
細則第十三條第二項相當ノ者ハ前年假決者ノ内ニ算入スルモノトス				
第五書式				
凡五寸五分				
用紙西ノ内				
郡市町村大字				
氏 名				

第六類 兵事 徵兵



表 面

徵兵身体検査ノタメ來ル何月何日午前(後)何時何郡何市何町(村)松江大隊區徵兵署(松江大隊區何徵兵検査處)へ參着スヘシ

年月日

島司郡市長 氏 名印

裏 面

身体受檢者心得

一 此達書ヲ受領シタルレキハ直ニ受書ヲ市長戸長町村長ニ差出スヘシ

一 本人不在等ニテ此達書ヲ受領スル能ハサルトキハ戸主或ハ家族其他ニ於テ代ツテ之ヲ受領シ前項ノ受書ヲ差出スヘシ但此場合ニ於テハ直ニ本人ニ達スヘキ旨ヲ記入シ置クヘキモノトス

一 疾病傷病或ハ犯罪等ニテ身体ノ検査ヲ受ケ難キ者及一年志願兵出願中及認可ヲ得タル者ハ其事由ヲ記シタル書(コ)戸長町村長ノ奥印證印ヲ受ケ島司郡市長(ヲ)市長(ニ)差出可シ其疾病傷病ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フ可シ此届出ヲナリハル者ハ徵兵事務條例第六十四條ニヨリ五錢以上登園九十五錢以下ノ科料ニ處セラレヘシ

一 正當ノ事故ナク身体検査ヲ受ケタル者ハ徵兵令第三十條ニヨリ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處セラレヘシ

一 兵役ヲ免レンクシタル者ハ徵兵令第三十一條ニヨリ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加セラルヘシ

一 作爲シ其他詐偽ヲ用ヒタル者ハ徵兵令第三十一條ニヨリ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加セラルヘシ

第六書式

不 參 届

郡市町村大字番屋敷

某長次男兄弟戸主

一年月日ヨリ何病(傷疾)ニ罹リ別氏診斷證書ノ通り

氏

年月日生

名

一年月日某裁判所宣告何罪ニヨリ何々何年處刑中

一何々罪ノタメ年月日ヨリ某裁判所検査ニ於テ訊問(拘留)中

一年月日自宅ニテ失踪(何々)ヨリ失踪(何々)ヨリ逃亡)

一年月日何々ノ故ヲ以テ何地へ旅行(何々)ノ故ヲ以テ國郡市町村何某方へ出稼(何々)ノ故ヲ以テ國郡市町村何某處有船何凡ニ乘組何地方へ向ケ航行)ニ付何月何日何地方某方へ向ケ郵便(飛脚)ヲ以テ書狀ヲ發シ徵兵検査ヲ受クヘキ事ヲ通知シタレトモ(返答)ノ有無ヲ記スヘシ(未歸宅)

一年志願兵出願中(一年志願兵出願認可ヲ得)

右(戸主或ハ親族)

年 月 日

氏

戸 印

島司郡市長氏名殿

前書之通相違無之候也

戸長町村長

氏

名 印

本人ヨリ届出難キ者ハ戸主或ハ親族ヨリ届出ヘキ者トス

第六書式 ○兵事 ○徵兵



第七書式 其

現役志願書

本年徵兵検査之際用種合格ニ付近衛(師團)何兵現役ニ服度志願ニ候間御採用相成度此段相願候也

郡市町村大字番屋敷

族籍

戸主又ハ何々

氏名印

年 月 日

第九旅管徵兵官

御 中

第七書式 其

現役志願者身元取調済況書

郡市町村大字

氏

名

右之者今般徵兵検査ノ際現役ニ服センコトヲ志願セシメ付身元取調候處同人ハ兵役ヲ志望シ其志操堅固ニテ相當ノ財産ヲ有シ(財産ヲ有セサルモ)決シテ一時ノ飢渴ヲ免カレントスル者コトヲ以テ且家族ニ於テ一切故障無之ニ付御採用相成度此段具申候也

年 月 日

第九旅管徵兵署

御 中

島根縣島田市市長 氏

名 印

松江大隊區司令官 氏

名 印

第八書式 其

徵集延期願(徵集免除届)

某儀本年徵兵適齡(何年徵兵適齡)ハ何年異動徵集ニ當リ徵集延期(或ハ免除)本年(或ハ何年)徵集ニ應シ候テハ何々ノ事(自給シ能ハサル事)家族ノ者自活シ能ハサルコト付徵集延期ノ儀御許可被下度(徵集免除相成度)別紙保証書(診断證書)其他何々書(相添此段相願)御届候也

郡市町村大字番屋敷

基士族平民職業

某長次男兄弟戸主

氏名印

年 月 日

松江大隊區徵兵官

御 中

前書之通相違無之候也

石長町村長

氏名印

年 月 日

一家族癩疾不具等ニシテ自活シ能ハサル者ハ醫師ノ診断證書ヲ添付スル  
一條例第五十三條第六十八條ノ願モ此書式ニ準シ調製ス可シ  
第八書式 其

徵集猶豫願

某儀本年徵兵適齡(何年徵兵適齡)ハ何年異動徵集ニ當リ徵集延期或ハ徵集猶豫(或ハ免除)何學校在校中(學術修業ノ爲メ何國寄留中)ニ付徵集猶豫ノ儀御許可被下度別紙證明書相添此段相願候也

郡市町村大字番屋敷

第六類 ○兵事 ○徵兵



年 月 日  
松江大隊區徵兵官

前書ノ通相違無之候也 御 中

第九書式 年 月 日

保 證 書

戶長町村長 氏

名 印

華士族平民職業

某長次男兄弟戸主 氏

名 印

郡(市)町(村)何某徵兵令第二十條(徵兵事務條例第五十三條)(徵兵事務條例第六十八條)據、徵集延期(徵集免除)(現役免除)(願(届)ノ趣ハ事實相違無之此段致保証候也

年 月 日

本年徵集者(新兵何兵第何番) 郡市町村大字番屋敷戸主  
(何年現役何兵第何番)某父(兄)(弟) 氏

名 印

同

同

他ノ徵集區ニ於テ應徵(検査)願

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同







其儀來ル十二月一日入營可致之處父(母)何病ニ罹リ危篤ニ(父)母何月何日死亡致候間同月何日迄入營延期御許可相成度(別紙診斷證書相添)此段相願候也

年 月 日  
現役何兵第何番 氏 名 殿  
郡市町村大字番屋敷  
市長戸長町村長  
名 印

第十四書式  
轉 籍 届  
市長戸長町村長  
氏 名 印

其儀何府(縣)郡(市)町(村)大字何番屋敷居住ノ處年月日何府(縣)郡(市)町(村)大字何番屋敷(何某養子トナリ)轉籍致候間此段及御届候也

年 月 日  
現役(豫備徵員)何兵第何番 氏 名 印  
郡市町村大字番屋敷

第十五書式  
寄 留 (旅行) 届  
現役(豫備徵員)何兵第何番 氏 名 印  
郡市町村大字番屋敷  
市長戸長町村長  
氏 名 印

其儀何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何府(縣)郡(市)町(村)大字何番屋敷何某方へ寄留(罷越)候間此段及御届候也

松江大隊區何監視區長名殿  
第十六書式

疾病(傷 疾)(犯 罪)届  
其儀十二月一日入營可致之處何月何日ヨリ何病ニ罹リ(何月何日何地ニテ何部ヲ折斷シ何々ノ傷損ヲ受ケ)(何罪ニヨリ何月何日何裁判所ニ於テ何々ニ處セシメ)候ニ付入營難致候間(別紙醫師診斷證書相添)此段及御届候也

年 月 日  
現役何兵第何番 氏 名 印  
郡市町村大字番屋敷

松江大隊區司令官氏名殿  
前書之通相違無之候也  
市長戸長町村長  
氏 名 印

年 月 日  
犯 罪 等  
犯罪等ニシテ本人ヨリ届出ル能ハサル場合ニ於テハ戸主或ハ親族ヨリ届出ヘキモノトス  
市長戸長町村長  
氏 名 印

診 斷 證 書  
郡市町村大字  
某長次男兄弟戸主  
氏 名  
年 月 日 生



全身違和四肢倦怠頭痛ヲ覺ヘ次テ惡寒戰慄ヲ發セリ同日午後之ヲ診スルニ体温三十九度脈搏百五十上白苔ヲ被リ煩渴消スヘカラス諸關節殊ニ右膝關節ノ腫起疼痛最モ甚キ爲メニ起立歩行スル能ハス尿ハ暗赤色ニテ靜定スレハ瓦紅色ノ沉渣ヲ生シ大便ハ秘結セリ依テ關節急性損傷發覺麻痺斯ト診定シ直ニ滋里矢爾酸那爲備母何瓦爾酸ヲ内服セシメ安靜温保ヲ命セシメ一週日ヲ經テ諸關節ノ腫痛ハ大ニ緩解セシメ特リ膝節ハ痛症依然トシテ退カス体温猶三十八度五六ノ間ニ留マルヲ以テ患部ニ氷捲法及石炭酸水捲法ヲ行ヒ滋里矢爾酸那爲備留母何瓦爾酸ヲ一日間ニ分服セシメ之ヲ持長スルコト二週日コシテ炎症大ニ消退シ体温何度ニ降ル然ルニ何月何日上固ノ際誤テ躓仆シ爲メニ同關節ノ災症再ヒ増劇シ体温四十度脈搏百二十至患部ノ腫痛甚クシテ夜間呻吟眠ヲ得ス依テ解熱消炎ノ方ヲ處セシカ何月何日ニ至リテ患部ニ波動ヲ觸知ス因テ探膿針コナ一分ノ液ヲ採リテ檢スルニ果シテ膿汁ナリ故ニ關節急性化膿炎ニ轉シタルモノト診定シ防腐法ヲ嚴守シ切開シテ膿ヲ泄シ石炭酸水ニテ洗滌シ排膿管ヲ挿入シテ防腐細帶ヲ施シ兼テ持續伸法ヲ行ヒシカ爾後疼痛漸ク去リ体温亦下降シ食機再ヒ振フト雖モ尙ホ膝關節ノ強剛ヲ遺ヌヲ以テ按摩法及他動的運動ヲ試行セシカ遂ニ輕反ノ彎曲ハ全ク治癒ニ至ラサルモノ(急速治癒スルニ至ラサルモ猶何々ノ療法ヲ施セハ或ハ治癒スルニ至ルヘシト診定候也)

郡市町村大字番屋敷

主治醫氏

名印

全

名印

(相談醫氏

名印)

●島根縣訓令第二十四號 明治二十六年三月六日

島 廳

郡役所

市役所

明治二十五年九月島根縣訓令第四百四十七號徵兵事務取扱心得第十八條左ノ通改正ス

第十八條 條例第五十三條第六十八條ニ依リ徵集延期若クハ現役免除出願者アルトキハ市長戶長町村長ハ

前條ニ據リ調書ヲ願書ニ添付スヘシ

●島根縣訓令第七十三號 明治二十六年七月十日

島 廳

郡役所

市役所

明治二十五年九月島根縣訓令第四百四十七號徵兵事務取扱心得第三十五條刪除ス

●島根縣訓令第十八號 明治二十八年二月七日

島 廳

郡役所

市役所

明治二十五年九月本縣訓令第四百四十七號徵兵事務取扱心得中左ノ通追加ス

第三十四條ノ次ヘ左ノ一條ヲ加フ

戶長役場

町村役場

第三十五條 令第二十條ニ當ル者徵集延期中ハ毎年身體檢査ヲ行フヘシ

第十五條式中「候間」ノ下ニ「通報人連署」ノ五字及本人氏名ノ次ニ左ノ通ヲ加フ

郡市町村大字番屋敷

徵集命令通報人

氏

名印

●島根縣訓令第四十六號 明治二十八年四月二十五日

島 廳

郡役所

市役所

明治二十五年九月本縣訓令第四百四十七號徵兵事務取扱心得中左ノ通改正追加ス

第一條中「第一書式」ノ下ニ「全條及」ノ三字ヲ加フ

戶長役場

町村役場

第二條第一項中「寄留者」左ノ例ヨリ記入「ノ」十三字及記載例ヲ刪除ス

第十一條中「第六十四條」ヲ「第六十二條」ニ改ム

第十七條中「第六十二條」ヲ「第五十九條」ニ改ム

第十八條中「第六十八條」ヲ「第六十六條」ニ改ム

第二十條中「令第二十六條及細則第四十五條」ヲ「條例第六十一條」ニ改ム

●第六類 ◎兵事 (徵兵)



第二十一條中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改ム  
 第二十六條中「第十九條」ヲ「第二十一條」ニ改ム  
 第三十五條中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改ム  
 第三十九條ヲ刪除ス  
 第四十條中「第五十八條第五十九條」ノ十字ヲ刪除シ「第六十五條」ヲ「第六十三條」ニ改ム  
 第四十一條中「第五十八條」ノ五字ヲ刪除ス  
 第四十二條中「明治二十二年」ヲ「縣令第百十七號」ニ據リ「ノ十八字及」第五十八條「ノ五字ヲ刪除シ」新兵」ヲ「現  
 役兵」ニ「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ改ム  
 第四十四條中「豫備徵員」ヲ「第一補充兵（第二補充兵）（補充兵）」ニ改ム  
 第四十六條中「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ改ム

附 則  
 現今ノ豫備徵員ハ從前ノ規程ニ依リ  
 第二書式右書ヲ左ノ如ク改ム  
 右明治何年徵兵適齡ノトキ何學校ニ在校何國ニ寄留中ニテ徵兵令第二十三條第一項第二項ニ當リ徵集期  
 豫ノ處年月日卒業退校歸朝（郡町村）番屋敷何某妻嗣子ニテ當徵兵令第十七條ニ當リ徵集延期ノ處年  
 月日該家離縁復籍候間此段及御届候也  
 第四書式凡例第二項ヲ左ノ如ク改ム  
 徵兵令第八條第二十五條但書相當ノ者ハ除クモノトス  
 第五書式裏面第三項中「第六十四條」ヲ「第六十二條」ニ改ム  
 第八書式凡例中「第六十八條」ヲ「第六十六條」ニ改ム  
 第八書式其「學術修業」ヲ「何々」ニ改ム

第九書式中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ「第六十八條」ヲ「第六十六條」ニ「新兵」ヲ「現役兵」ニ改ム  
 第十書式中「應徵（検査）」ヲ「身体検査」ニ「徵集」ニ應ジ度（検査ヲ受度）」ヲ「身体検査ヲ受度」ニ改ム  
 第十一書式中「外國留學」ヲ「外國ニ在ル者」ニ改ム  
 第十二書式ヲ刪除ス  
 第十四書式第十五書式中「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ改ム  
 ●島根縣訓令第四十七號 明治二十六年四月二十日  
 陸海軍徵兵身長別表ノ通被定候條此旨心得ヘ  
 但明治二十三年ニ本縣訓令第二十二號ハ消滅ニ屬ス

島 郡役所 市役所

陸海軍徵兵身長表

區 分		種 類		身 長	
軍	陸	步 兵	兵	五 尺	二 寸 以 上
		騎 兵	兵	五 尺	二 寸 以 上
		野 戰 砲 兵	兵	五 尺	四 寸 以 上
		工 兵	兵	五 尺	四 寸 以 上
		輜 重 兵	兵	五 尺	二 寸 以 上
		輜 重 卒	卒	五 尺	二 寸 以 上
		職 工	工	五 尺	以 上
		職 工	工	五 尺	以 上
		職 工	工	五 尺	以 上
		職 工	工	五 尺	以 上







長ハ郡戸長ト協議シ該町村内ニ於テ便宜旅舎ヲ指定シ宿主ヲシテ陸軍召集軍用旅舎ト記シタル標札ヲ常ニ掲ケシメ召集ノ令アリタルトキハ其旨ヲ直ニ通達シ其間ハ標旗夜間ハ標燈ヲ掲ケシムル等諸事不都合ナキ様注意スヘシ

第四項 前項ノ標旗標燈ハ警察署長戸長ト協議シ常ニ旅舎ヲシテ調製セシメ置クヘシ其調製費ハ官ヨリ給セラルモノトス

第五項 但標旗標燈ハ旅舎ノ所有ニ屬スト雖モ平常他事ニ使用スルヲ許サハルヲ以テ其旨示シ置ヘシ何レノ地ヲ問ハス驅員兵員ヨリ警察官吏ハ旅舎ノ請求ヲナシタルトキハ令狀ヲ査閲シ速ニ相當ノ場所ニ宿泊セシムヘシ

第六項 條例第二十八條第三項ノ要地ハ警察署長ニ於テ郡戸長ト協議シ上豫シメ其場所ヲ定メ縣廳ニ届出而シテ平素出張吏員ノ分擔地ヲ定メ置召集ノ令アルニ當リ渡船ノ不完全又ハ道路橋梁等通行ノ難シト認ムル場所ハ郡役所若シテハ戸長役場ニ協議シ不都合ナキ様取計フヘシ

第七項 條例第二十八條第四項ノ處分ヲ了シタルトキハ通知ヲ爲シタル官吏ハ其頗末ヲ通報スヘシ

第八條 警察署長ハ召集ノ際其部内居住ノ驅員兵員概テ發程濟ノ時期ヲ量リ左ノ件々ヲ縣廳ニ報告スヘシ  
一 條例第二十八條第一項ニヨリ召集ニ應ジ應ズヘキモノ、發程ヲ督促シタル人名  
二 犯罪又ハ失踪逃亡等ニテ召集ニ應ジ難キ者ノ屆書ニ證明ヲ與ヘタル人名及其事故  
三 違令者ヲ處分シタルトキハ其人名及違令ノ摘要  
四 召集ノ達書到達及分署巡査派出所駐在所ニ達濟ノ月日並ニ時刻  
五 河川港灣等通行難易ノ景況

第九條 召集途中川支等ノ事故ニテ警察官ノ證明書ヲ請求スルモノアルトキハ令狀ヲ査見シ事實相違ナシト認メタルトキハ第三號書式ノ證明書ヲ渡スヘシ

第十條 警察官ニ於テ召集ニ應ジ難キ兵員ノ事由書ニ證明ヲ爲スハ第四號書式ニ據ルヘシ

第十一條 條例第四十九條ノ警報ハ豫メ西ノ内横五枚繼ニシテ白紙ニ朱ヲ以テ大書シ置キ召集ノ達アルヤ年月日時ヲ記入シ直ニ警察署全分署巡査派出所駐在所ニ揭示シ飛散ノ憂ナキ様注意スヘシ

第十二條 第一充員召集ノ警報ハ本文ト著報時刻ヲ記スル中間ニ左ノ註釋ヲ記載スヘシ  
第一充員召集トハ在郷ノ歸休兵及豫備役驅員兵員ヲ召集セラル、モノナリ  
第二充員召集

第十三條 第二充員召集ノ警報ハ前條ト同様ノ中間ニ左ノ註釋ヲ記載スヘシ  
在郷ノ歸休兵及豫備役驅員兵員中第二充員召集タル命令ヲ受ケ居ルモノ、ヨリ召集セラル、モノトス

第十四條 第二充員召集ノ手續ハ前條ノ外第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ  
後備軍召集

第十五條 後備軍召集ノ手續ハ第一充員召集手續ヲ適用スヘシ  
近衛充員召集

第十六條 近衛充員召集ノ手續ハ第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ  
近衛後備軍召集

第十七條 近衛後備軍召集ノ手續ハ第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ  
定時演習召集

第十八條 警察署長ハ定時演習召集ノ達ヲ受ケタルトキハ之レヲ所轄分署又ハ巡査派出所駐在所ニ通達シ郡役所ヨリ報告ノ人名ニ就キ召集ニ應ズヘキ者ノ發程スヘキ時期ヲ量リ條例第二十八條第一項ノ調査ニ着手スヘシ

第十九條 警察署長ハ定時演習召集ノトキハ本則第八條第一項第二項第三項ノ諸件ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第二十條 定時演習召集ノトキハ本則第九條第十條ヲ適用スヘシ  
點呼召集

第六類 ○兵事 (召集事務)



第二十一條 點呼召集ノ時ハ本則第十條ヲ適用スヘシ  
第二十二條 點呼召集ノ時ハ本則第八條二項ノ件ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第三章 郡役所事務

第二十三條 郡長ニ於テ條例第三十條ノ手續ヲ履行スル順序ヲ定ムル左ノ如シ

第一項 召集ノ達アリタルトキハ豫定ノ脚夫ヲ以テ第五號書式ニヨリ豫メニ調製シ置キタル達書ヲ送ル戸長ニ發送スヘシ

第二項 旅費ヲ送付スルニハ第六號書式ノ證書ヲ添ヘ其乙號受領証ヲ徴スヘシ

第三項 脚夫ハ一戸長役場ヨリ一人又ハ雇員ノ數ニ應ジ人員ヲ豫定シ分擔シ定メ置クヘシ  
但沿道筋ニアリテ遲滞ノ恐レナキモノハ一脚夫ニテ二戸長役場又ハ雇員二名ヲ貸テモ妨ナ

第四項 雇員ノ令狀ヲ配達スルトキハ受領証ヲ要スルヲ以テ豫メ其人員ニ應ジ第七號書式ノ料紙ヲ調製シ

第五項 脚夫ハハ平素第八號雛形ノ木札ヲ渡シ置キ晝間ハ該木札又夜間ハ郡役所記名ノ提灯ヲ併セテ携

第六項 脚夫途次發病等ニテ公書ヲ送達スル能ハサルトキハ最寄戸長役場ニ届出代人ヲ請求センメ送達延

滞セサル様豫テ申置クヘシ

第七項 脚夫發着ノ時刻ハ必ス詳細ニ記録シ置クヘシ

第八項 時宜ニヨリテハ郡役所吏員ヲ急行派遣シ戸長ニ達書及旅費ヲ交付セシムルコトヲ得

第九項 雇員ノ令狀ヲ配達スルニ當リ旅行等コト不在ノトキハ其身元若シハ親族ニ渡シ置キ其受領者ヨリ

第十項 寄留地ニヨリ召集ニ應スル許可ヲ得ル雇員ノ令狀ハ通報人ニ交付シ速ニ本人ニ回送セシムヘシ

第二十四條 召集ノ際ハ郡長ハ時機ヲ見計ヒ適宜吏員ヲ派遣シ戸長役場ノ事務上差支ナキヤ否ヲ鑑査セシム

第二十五條 郡駐在官ヨリ條例第二十七條ノ脚夫豫定ノ協議ヲ受ケタルトキハ相當之ニ應スヘシ

第二十六條 軍用旅舎ハ警察署長ノ協議ニ應ジ便宜之ヲ定メ宿泊料ハ概テ一泊金十五錢以下ヲ以テ賄ハシム

第二十七條 本則第七十二條ノ操替金返付請求書ヲ戸長ヨリ差出シタルトキハ調査ノ上直ニ縣廳ニ回送スヘシ

第二十八條 召集ノ際逃亡失踪者アルトキ或ハ違令者ト認ムルモノアルトキハ直ニ警察官吏ニ通告スヘシ

第二十九條 本則第七十七條ニ據リ戸長ヨリ差出シタル令狀ハ郡役所ニ取極メ郡駐在官ニ廻付スヘシ

第三十條 條例第四十九條ノ警察ハ豫メ西ノ内紙横五枚繼コシテ白紙ニ朱ヲ以テ大書シ置キ召集ノ發令アル

ヤ年月日時ヲ記入シ直ニ揭示場ニ揭示シ飛散ノ患ナキ様注意スヘシ

第三十一條 前條警察ノ記載方ハ本則第十二條ヲ適用スヘシ

第三十二條 條例第五十條ノ計算書ハ第十號書式ニ據リ調製シ尙第十一號書式明細書ヲ添付スヘシ

第三十三條 郡長ハ召集ノ達ヲ發シ令狀旅費ヲ雇員及戸長ニ送付シ終リタルトキハ第十二號書式事務執行時

刻表ヲ調製シ縣廳ニ差出スヘシ

第二十四條 第二充員召集人名ハ郡駐在官ヨリ郡長ニ通牒スルヲ以テ郡長ハ之ヲ戸長ニ傳達シ置クヘシ

第二十五條 第二充員召集警察ノ記載方ハ本則第十三條ヲ適用スヘシ

第二十六條 第二充員召集ニ關スル手續ハ前條ノ外第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ



後備軍召集

第三十七條 後備軍召集ノ手續ハ第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ

近衛充員召集

第三十八條 寄留地ヨリ召集ニ應ジ或ハ集合地ニ到ル許可ヲ得ヘシ 但本人ノ令狀ハ通報人ニ交付シ速ニ本人ニ  
回送セシムヘシ

第三十九條 條例第八十二條ノ召集旅費計算書ハ第十號書式ニ據リ調製スヘシ

第四十條 近衛充員召集ノ手續ハ前條ノ外第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ

近衛後備軍召集

第四十一條 近衛後備軍召集ノ手續ハ第一充員召集及近衛充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ

定時演習召集

第四十二條 令狀ヲ編員ニ送達シタルトキハ第七號書式ノ領收証ヲ徴スヘシ

第四十三條 旅費ヲ戸長ニ送付スルニハ第六號書式ノ証書ヲ添ヘ其乙號受領証ヲ徴スヘシ

第四十四條 旅費ハ其演習半ヲ過シタルトキハ速ニ決算ノ上殘金アレハ返納ノ手續ヲ爲シ第十一書式ノ明細書  
ヲ製シ縣廳ニ差出スヘシ 尤餘額兵員ト合シ演習召集ヲ行ヒタル時ヲ除ク外近衛ニ係ル旅費ハ別冊ニ明細書  
ヲ製スヘシ

但本人領收証ハ郡役所ニ留置ヘシ

第四十五條 定時演習召集ニ應ズヘキ編員疾病其他ノ事故ニテ演習半迄ニ召集地ニ到着シ難キ者出頭ニ及ハ  
サル達書ノ送達アリタルトキハ戸長ヲ經テ之ヲ本人ニ送付スヘシ

第四十六條 本則第九十一條ニ據リ戸長ヨリ差出シタル令狀ハ郡役所ニ取纏メ郡駐在官ニ回付スヘシ

第四十七條 定時演習召集ノ人名ハ郡駐在官ヨリ令狀送付アリタルトキ直ニ所轄警察署ニ通報スヘシ

第四十八條 定時演習召集ノトキハ本則第二十八條ヲ適用スヘシ

點呼召集

第四十九條 點呼召集ノトキ郡長ハ兵事主任者ヲシテ其場所ニ立會セシム且郡役所備置ノ名簿ヲ携帶セシム  
該場立會戸長ノ携帶シタル兵籍名簿ニ照較差違ヲキヤ否ヲ検査セシムヘシ

但所轄内點呼竣ルノ後ハ其景況及検査シタル名簿ノ整否ヲ速ニ縣廳ニ報告スヘシ

第五十條 他ヨリ寄留ノ兵員ニテ其地ニ於テ點呼召集ニ應ズル許可ヲ得キ者ノ人名ハ郡駐在官ヨリ通知ス  
ルヲ以テ之レヲ戸長ニ通達シ別ニ名簿ヲ調製シ置キ本籍者同様取扱フヘシ

雜則

第五十一條 郡役所召集事務擔任者五名乃至十名ヲ撰任シ候シ其官姓名ヲ縣廳ニ届出ヘシ但改換シタルト  
キ亦同シ

第五十二條 郡役所ニ於テ召集ニ用ユヘキ諸名簿ハ明治十八年十月乙卯百三十五號通令依リ調製シタルモノ  
ヲ以テ適用スヘシ 尤第二充員召集者ハ朱印ヲ以テ充員ニノ文字ヲ名簿上部欄外ニ押捺シ其區別ヲ明瞭ニ爲シ  
置キ近衛ニ係ルモノハ別簿ニ調製スヘシ

但寄留地ヨリ直ニ召集ニ應ジ又ハ近衛集合地ニ到ル許可ヲ得シ編員ノ召集命令通報人住所姓名ハ名簿ニ  
付箋記載シ置ヘシ

第五十三條 編員兵員ヨリ差出シタル軍衙ニ宛タル書類ハ總テ郡駐在官ニ回送スヘシ

第五十四條 充員及後備軍召集旅費金ヲ支出スヘキ金庫區域ハ第十三號表ノ通心得ヘシ

第五十五條 條例第六十五條ノ召集旅費概算表ハ現員ノ十分ノ三分一ノ分額ヲ以テ算スヘシ

但本文十分ノ三ニ當ル人員ノ旅費金ハ現員中最遠隔ノ者ニ均シキ額ヲ以テ算スヘシ

第五十六條 郡長ハ毎月末日第十四號書式ニ據リ編員兵員現在表ヲ調製シ翌月五日期限縣廳ニ報告スヘシ

第五十七條 召集ニ關シ他官廳ヨリ發シタル脚夫途中發病等ニテ書信ヲ送達スルコト能ハサルヨリ代人請求  
申出タルトキハ速ニ之レニ應ジ書信送達遲滞ノ患ナキ様取計フヘシ



但此場合ニ於テハ其脚夫發着ノ時刻等ヲ記シ登翰記名ノ官衙へ直ニ通報スヘシ  
第五十八條 前條代人ニ要スル賃金ハ登翰記名ノ官衙ヨリ支拂フヘキモノトス  
第五十九條 各町村ヨリ召集地或ハ近衛集合地ニ到ル直行里數變更ノ場合ニ在テハ郡長ヨリ縣廳及縣郡駐在官へ通報スヘシ

第六十條 郡長ハ毎年二回以上主任者ヲ派遣シ戸長役場召集事務ノ準備整齊ヲ監査セシメ其状況ヲ縣廳へ報告スヘシ

第四章 戸長役場事務  
第一充員召集

第六十一條 戸長ニ於テ條例第三十一條ノ手續ヲ履行スル順序ヲ定ムル左ノ如シ

第一項 脚夫ハ兵員ノ數ニ應ジ之ヲ豫定シ配達ノ際混雜セサル様豫メ分擔ヲ定メ置クヘシ  
但沿道又ハ全村ニテ遅延ノ恐ナキ分ハ一脚夫ニシテ二三名ヲ兼ムルモ妨ケナシ

第二項 令狀配達ノトキハ其表面ニ年月日ヲ記入スヘシ且領收証ヲ要スルヲ以テ豫メ其人員ニ應ジ第七號書式ノ料紙ヲ調製シ登キ令狀ト共ニ配付シ受領ノ日時ヲ記シ調印セシメ取纏メ置クヘシ  
但令狀書換ノ爲メ郡駐在官へ送付中或ハ他ヨリ轉住シ或ハ現役歸休又ハ滿期準備役ニ編入等ニテ歸郷スルモ戸長役場ニ令狀未達中ナルトキハ令狀ニ換ユルニ其旨ヲ詳記シタル証明書ヲ以テ本條ノ手續ヲナシ出發セシムヘシ

第三項 脚夫ハ平素第八號雛形ノ木札ヲ渡シ置キ晝間ハ該木札又夜間ハ戸長役場記名ノ提灯ヲ併セテ携帶セシムヘシ

第四項 脚夫發着ノ時刻ハ必ス詳細ニ記録シ置クヘシ

第六十二條 條例第三十二條旅費交付ニ關スル手續ヲ定ムル左ノ如シ

第一項 戸長ハ旅費ノ支給ヲ容易ナラムル爲メ豫メ第十五書式ノ領收証料紙ヲ調製シ置クヘシ且旅費金

ヲ入レ置ヘキ紙袋ヲ一人毎ニ製シ金額ト姓名トヲ記シ置キ郡長ヨリ命員送付アルヲ速ニ計算分割シ晝夜ノ別ナシ交付ニ差支ナカラシムヘシ

第二項 旅費金交付ノ際ハ令狀ヲ査見ノ上其表面ニ年月日ヲ記入シ交付スヘシ然シテ前條ノ豫メ製シ置キタル領收証へ交付ノ年月日ヲ記入シ署名押印セシムヘシ

第三項 前項旅費交付済ノ上ハ第十一號書式ノ明細書ヲ製シ本人ノ領收証ヲ因ヘ殘金アルハ共ニ郡長へ送呈スヘシ尤疾病等ニテ一時召集ニ應ゼサルモノハ旅費ハ戸長役場ニ預リ置キ此際郡長へ其人名及事故ヲ報告シ追テ本人へ交付済ノ上本文ノ手續ヲ爲スヘシ若シ送ニ召集ニ應スルコト能ハザリシトキハ其事由ヲ具シ返納ノ手續ヲ爲スヘシ

第四項 旅費交付ノ後疾病犯罪等ニテ不應ノ者アルトキハ其旅費金一旦引揚發程ノ際更ニ下渡スヘシ

第六十三條 前二條ノ如シ令狀發送及旅費交付ノ順序ヲ定ムルト雖トモ時宜ヨリテハ緩急ヲ斟酌シ役場吏員ヲ派遣シテ令狀旅費ヲ本人へ交付セシムルモ妨ケナシ

第六十四條 令狀ヲ配達スルニ當リ他ニ寄留又ハ旅行中ノ者ハ其通報人ヨリ速達ノ方法（電信別配速郵便又ハ急使等）ヲ以テ通報シ歸郷ノ上令狀及旅費ヲ交付スヘシ

但驅員ニシテ本文同様ノ場合アルトキ旅費交付方亦同シ

第六十五條 寄留地ヨリ直ニ召集ニ應スル時可得タル者ノ令狀及旅費ハ通報人へ交付シ遲滞ナシ本人へ送付セシムヘシ

但旅費ハ本籍地ヨリ召集地ニ至ル里程ニ應ズル額ヲ下渡スヘシ

第六十六條 前條ノ召集員アルトキハ其旨寄留地戸長へ通知シ發程時日或ハ不發事由等ノ報告ヲ求ムヘシ

第六十七條 戸長ニ於テ召集ノ達ヲ受タル時ハ直ニ召集員住所人名書ヲ調製シ戸長役場へ派出ノ際更ニ移スヘシ

第六十八條 何レノ地ヲ問ハス驅員兵員ヨリ戸長役場員へ旅舎ノ請求ヲナシタルトキハ令狀ヲ査閲シ速ニ相



當ノ場所へ宿泊セシムヘシ

第六十九條 召集ノ途アリタルトキ軍用旅舎設置地ノ戸長ハ該旅舎ニ於テ標旗標燈掲出ノ有無ヲ査見シ若シ掲出ナキ旅舎アリタルトキハ其督促ヲナシ且召集員ノ便宜ヲ得ル様諸般注意スヘシ

第七十條 條例第二十八條第三項ニヨリ警察官吏ノ出張ヲ要スル渡津橋梁及港灣等ヘハ便宜戸長モ出張シテ諸事注意スヘシ

第七十一條 召集ノ途中川支其他ノ事故ニテ滞留シタルトキ其地戸長ノ証明書ヲ請求スル者アルトキハ合狀ヲ査見シ事實相違ナシト認メタルトキハ第三號書式ノ証明書ヲ渡スヘシ

第七十二條 召集途中郷里ヲ距ル行程六里以上ノ地ニ於テ疾病又ハ川支其他ノ事故ニテ滞在シ旅費ノ欠乏ヲ訴フル者アルトキハ合狀ヲ査見シ事實相違ナシト認ムレハ實際滞在ノ日數ニ應シ一日金二十八錢宛(明治二十一年本條例令第十二號條費概則ニ採ル)ヲ役場經費ヨリ一時操替下渡シ本人領收証ニ通シテ一通ニ操替下渡シタル旨ヲ記シ戸長署名押印ノ上本人ニ交付シ他ノ一通ハ事由ヲ具シ郡長ヲ經テ縣廳ヘ送達シ操替金ノ返付ヲ請求スヘシ但疾病ノ者ハ醫師ノ診断書ヲ徴シ縣廳ヘ差出スヘキ領收証ニ添付スヘシ

第七十三條 召集ノ際逃亡失踪者アルトキ或ハ違令者ト認ムルモノアルトキハ直ニ警察官吏ニ通告スヘシ

第七十四條 條例第四十二條第四十三條ニ據リ召集ニ應シ難キ届書ヲ差出スヘキトキ逃亡其他ノ事故ニテ本人ヨリ届出ヲナス能ハサル者ニシテ若シ親戚ナキカ或ハ親戚アルモ遠隔ノ地ニ居住シアリテ其手續ヲ爲シ難キトキハ戸長ヨリ届出ヲナスヘシ但此場合ニ於テハ警察官ノ証認ヲ要セス

第七十五條 疾病其他ノ事故ニテ召集ニ應シ難キ者ノ届書ハ戸長ニ於テ取纏メ召集證書受領ノ日ヨリ三日以内ニ郡駐在官ヘ差出スヘシ

第七十六條 召集發令ノ際不應ノ者ニテ疾病快癒又ハ事故済ノ上發程ノトキ戸長ニ於テ合狀裏面ノ欄外ヘ「疾病快癒(何事故済)何月何日發程」ト記シ認印ヲ押スハ左傍欄外上部ト心得ヘシ但此記入ヲ要スルモノハ兵員ノ合狀ニ限ルモノトス

第七十七條 召集ニ際シ疾病其他ノ事故ニテ召集ニ應セサル兵員ノ合狀ハ終ニ應スルコト能ハサルトキ郡長ヘ回付スヘシ但傭員ニ係ル全様ノ合狀モ兵員ノ合狀ト共ニ郡長ヘ回付スヘシ

第七十八條 條例第四十九條ノ警察ハ豫メ西ノ内紙横五枚纏ニシテ白紙ニ朱ヲ以テ大書シ置キ召集發令アルヤ年月日時ヲ記入シ直ニ其部内ノ揭示場ニ揭示スヘシ尤其他ノ場所ト雖トモ公衆ノ注目ヲ易キ地ハ平素豫定ニ置キ此際悉ク揭示シ飛散ノ患ナキ様注意スヘシ

但山野海上等ニ出業ノ諸兵ニ召集ノ聲アルコトヲ知得セシムル爲メ警察官ハ換ユルニ最寄社寺ノ釣鐘ヲ撞セシメ或ハ螺貝ヲ吹キ呼集スル等ノ準備ハ豫メ之ヲ設ケ常ニ召集員ニ知得セシメ置クヘシ

第七十九條 前條警察ノ記載方ハ本則第十二條ヲ適用スヘシ

第八十條 戸長ハ合狀ヲ各自ニ配達シ終リタルトキハ第十六號書式ノ事務執行時刻表ニ通シテ製シ一通ハ直ニ縣廳ヘ一通ハ郡役所ヘ差出スヘシ

第二充員召集  
第八十一條 第二充員召集人名ハ郡長ヨリ通達スルヲ以テハ戸長ハ常ニ其兵員ニ第二充員タルコトヲ知得セシメ置クヘシ

第八十二條 第二充員召集警察ノ記載方ハ本則第十三條ヲ適用スヘシ

第八十三條 第二充員召集ニ關スル手續ハ前條ノ外第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ

後備軍召集  
第八十四條 后備軍召集ニ關スル手續ハ第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ

近衛充員召集  
第八十五條 兵員ヘ渡スヘキ合狀裏面ノ參着日限ハ其召集ノ途ニヨリ戸長ニ於テ之ヲ記入スヘシ

第八十六條 寄留地ヨリ直ニ召集ニ應シ又ハ近衛集台地ニ到ル許可ヲ得シ者ノ合狀及旅費ハ通報人ヘ交付シ遲滞ナシ本人ヘ送附セシムヘシ



但集合地ニ到ルモノハ勿論召集地ニ到ルモノト雖トモ旅費ハ本籍地ヨリ集合地ニ到ル里程ニ應スル額ヲ下渡スヘシ

第八十七條 近衛充員召集ノ手續ハ前條ノ外第一充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ  
近衛後備軍召集

第八十八條 近衛後備軍召集ノ手續ハ第一充員及ヒ近衛充員召集ノ手續ヲ適用スヘシ  
定時演習召集

第八十九條 定時演習召集ノ令狀並ニ旅費金ヲ交付シタルトキハ令狀ハ第七號書式旅費金ハ第十五號書式ノ領收証ヲ徴スヘシ  
但旅費金交付ノトキハ令狀ヲ査見ノ上令狀裏面ニ年月日ヲ記入スヘシ

第九十條 寄留地ヨリ定時演習召集ニ應スルモノハ令狀及旅費ハ通報人ニ下渡本人ニ送致セシムヘシ其旅費額ノ計算ハ本則第六十五條但書ニ全シ  
但寄留地戸長ニ召集ノ旨通知シ併テ發程時日或ハ不參事由等ノ報知ヲ求ムヘシ

第九十一條 定時演習召集ニ應スヘキ兵員疾病其他ノ事故ニテ演習半迄ニ召集地ニ參着シ難キ者出頭ニ及ハサル連書ノ送達アリタルトキハ之ヲ兵員ニ達シ令狀ハ郡長ニ回付スヘシ  
但驅員ニ係ル同様ノ令狀ニ兵員ノ令狀ト共ニ郡長ニ回付スヘシ

第九十二條 定時演習召集旅費ハ演習半ヲ過クルトキ直ニ決算ノ上殘金アレハ返納ノ手續ヲナシ第十一號書式ノ明細書ニ本人領收証ヲ添ヘ郡長ニ差出スヘシ尤錄諸兵ト合シ演習ヲ施行セントキヲ除クノ外近衛ニ係ル分ハ明細書ヲ別冊ニ調製スヘシ

第九十三條 定時演習召集ノトキハ本則第七十一條第七十三條ヲ適用スヘシ  
照 呼

第九十四條 點呼召集ノトキ戸長ハ兵員ノ遲刻セサル様豫テ注意ヲ加ヘ且其場所ハ兵籍名簿ヲ携ヘ自ら

出頭シ名簿ハ郡駐在官及郡役所主任者ノ檢査ヲ受クヘシ

第九十五條 他ヨリ寄留ノ兵員ニシテ其地ニ於テ點呼召集ニ應スル許可ヲ得シ者ノ人名ハ郡長ヨリ通達スルヲ以テ別ニ名簿ヲ調製シ流本籍者同様取扱フヘシ  
雜 則

第九十六條 召集事務ハ戸長役場令員ヲ以テ之レヲ擔任唯唯ニ遵從セ遲緩ノ患勿ラシムヘシ

第九十七條 定時演習召集及點呼召集ヲ除クノ外召集發令後決シテ訓示ヲ仰クヲ得キルヲ以テ戸長役場令員ヲ會シ毎月一回已上條例及本則ノ復讀ヲ爲サシムヘシ

第九十八條 戸長役場ニ於テ召集ニ用ユヘキ諸名簿ハ本則第五十二條郡役所備置ノ名簿ト全様ニ取計フヘシ  
但旅行寄留中ノ召集令通報人住所姓名ハ名簿ニ付箋記載シ置キテ所轄警察署ヘモ通報シ置ヘシ

第九十九條 條例第五百四十四條但書ニ據リ戸長ニ於テ令狀中訂正ヲ加フヘキモノハ歸休兵ヨリ豫備役ニ豫備役ヨリ後備兵役ニ移リ又ハ改名或ハ其所轄内ニ於テ轉住養子入夫等ニ限ルモノトシ其他所轄外ニ沙々異動アリタルトキハ郡駐在官ニ回送スヘシ尤戸長ノ姓名ニ異動ヲ生シタルトキハ紙片ヲ貼付シ訂正スヘシ  
但訂正ハ朱字ヲ以テ施シ其處ハ戸長認印スヘシ

第一百條 召集ニ關シ他官廳ヨリ發シタル脚夫途中發病セントキノ扱ハ本則第五十七條第五十八條ヲ適用スヘシ

第五章 驅員兵員等ノ心得

第一百一條 郡長戸長ハ召集條例中驅員兵員及其親等族ニ係ル事項ハ宜ク當ニ之ヲ知ラシメ區クハ勿論尙本章ノ條項ヲ說示知得セシムヘシ

第一百二條 充員及後備軍召集アルトキ近衛召集地又ハ近衛集合地ハ廣島トス前項廣島市街ノ入口ニハ驅員兵員ノ參着場ヲ指示アルコトヨリ召集ニ應スルトキ其地ニ到レハ之レヲ注目スヘク尤夜間ニ在テハ此場所ニ隨軍ノ徽章ヲ付シタル提灯ニ點火アルモノトス



但本縣警員兵員ノ參着場所ハ左ノ如ク

近衛召集員 廣島區廣島西寺町 佛護寺

鎮臺召集員 全 區廣島村木町 淨圓寺

第百三條 本則實施前他ノ寄留セシ者ニテ召集地又ハ近衛集台地ヲ知得セサルモノハ通報人ヨリ之ヲ通知スヘシ

第百四條 在郷ノ離休兵及豫備役警員兵員中第二充員召集員トナルモノハ戸長ヨリ其警員兵員ハ通達スルヲ以テ第二充員召集員タルコトヲ知得スヘシ

第百五條 兵員タルモノハ雨具草鞋足袋等ハ常用意シ召集ノ命アルニ際テ差支サル様準備シ置クヘシ

第百六條 召集ニ應スヘキ兵員ハ自己ノ衣服格納ニ要スル爲メ凡ソ方三尺ノ油紙或ハ風呂敷並ニ縣名姓名ヲ記シタル木札及芋繩ヲ常ニ準備シ置キ出發ノ際必ス携帯スヘシ

第百七條 充員及後備軍召集ノ際アルトキハ郡役所戸長役場警察署全分署巡査派出所巡査駐在所等ノ揭示場及其他ノ場所ト雖トモ公衆ノ注目シ易キ地ニハ白紙ニ朱書ヲ以テ條例第四様式ノ如ク警報ヲ掲ケ又山野海上等ニ出業ノモノハ召集ノ事ヲ知ラシムル爲メ寺院ノ釣鐘ヲ連撞セシメ又ハ螺貝ヲ吹シタル等各町村便宜ノ方法ヲ設ケアルヲ以テ警員兵員ハ常ニ知得ル期ヲ願ルヘカラス

第百八條 充員及後備軍召集ノ令狀ヲ受ケタルトキハ令狀携帶迷ニ戸長役場ニ到リ令狀ヲ示シ旅費ヲ受取リ必ス令狀ヲ受ケタルトキヨリ二十四時以内ニ出發シ行程ハ一日十里以上トス然レトモ沿道ニ停車場又ハ出船場アルトキハ必ス漁車漁船ノ便ニ依リ力メテ神速ニ參着スヘシ

但近衛充員及近衛後備軍召集ハ必ス二十四時以内ニ發途スルヲ要セスト雖トモ參着期限ヲ誤ラサル様注意發程スヘシ

第九條 召集ノ途中疾病又ハ川支其他ノ事故ニテ滞留シタルトキハ疾病ハ醫師ノ診斷書川支其他ノ事故ハ其地戸長或ハ警察官ノ證明書ヲ請求シ參着届出ノ際該書面ヲ差出スヘシ

但海上風波ノ難ニ遇ヒ警察官若シハ戸長ノ證明書ヲ得ル能ハサルトキハ該船主船頭等ノ證明書ヲ要スルモノトス

第百十條 前條ノ場合ニ於テ若シ旅費欠乏シタルトキハ戸長役場ニ申出實際滞在セシ日當金ノ換替ヲ請求スルコトヲ得

但受領証書二通ヲ製シ戸長ニ差出シ一通ニ戸長ノ換替タル旨ヲ記シ署名捺印ノ上之ヲ受ケ參着ノトキ後備軍官僚ニ差出スヘシ尤疾病ノ者ノ醫師診斷書ハ戸長受領スヘキ証書ニ添付シ置キ後備軍官僚ニ差出スニ及ハス

第百十一條 軍用旅舎ノ設ケアラザル地ニ於テ宿泊セントスルトキハ戸長又ハ警察官ニ宿舎ノ請求ヲナスコトヲ得

第百十二條 充員及後備軍召集ノ際警員兵員ハ私費ヲ以テ開設シタル道路橋梁又ハ渡津ニ於テ其賃金ヲ支拂フニ及ハス令狀ヲ示シタル上直ニ通行スヘシ

第百十三條 充員及後備軍召集ノ際警員兵員召集地又ハ近衛集台地ニ若シタルトキハ晝夜ノ別ナシ直ニ參着場所ニ到リ後備軍官僚ニ届出シ尤參着場所ニハ何縣警員兵員參着場所ト記シタル木札ヲ掲ケ又夜間ニ在テハ陸軍ノ徽章ヲ付シタル提灯ノ點燈アルモノトス

但近衛警員兵員ニテ許可ヲ受ケ近衛集台地ヲ經テ寄留地ヨリ直ニ召集地ニ到ル者ハ參着ノ上近衛副官又ハ副官部官員ニ届出ヘシ

第百十四條 寄留地ヨリ直ニ召集ニ應シ又ハ近衛集台地ニ到ラント欲スルモノハ軍管内外ニ輪ナシ召集命令ノ通報人ヲ定メ後備軍司令官ニ願出許可ヲ受クヘシ尤徵兵令第十二條ノ離休兵ハ此限リコトヲナシテ本縣内他町村ニ寄留シ全地ヨリ應徵セント欲スルモノハ之ニ準スルコトヲ得

但願書ハ第十七様式ニ依リ認メ戸長ニ差出シ戸長長印捺印ノ上郡駐在官及府縣駐在官ヲ經由シ差出スヘシ且召集命令通報人ハ別紙第十八號様式ノ証書ヲ調製シ警員ニ係ルモノハ戸長ヲ經由シ部長ニ係ルモノハ

第百十五條 充員及後備軍召集ノ際警員兵員召集地又ハ近衛集台地ニ若シタルトキハ晝夜ノ別ナシ直ニ參着場所ニ到リ後備軍官僚ニ届出シ尤參着場所ニハ何縣警員兵員參着場所ト記シタル木札ヲ掲ケ又夜間ニ在テハ陸軍ノ徽章ヲ付シタル提灯ノ點燈アルモノトス

但願書ハ第十七様式ニ依リ認メ戸長ニ差出シ戸長長印捺印ノ上郡駐在官及府縣駐在官ヲ經由シ差出スヘシ且召集命令通報人ハ別紙第十八號様式ノ証書ヲ調製シ警員ニ係ルモノハ戸長ヲ經由シ部長ニ係ルモノハ



モノハ戸長ニ差出スヘシ

第百十五條 本則實施前他ノ寄留セシ者ニテ其寄留地ヨリ召集ニ應ジ又ハ近衛集合地ヘ到ラント欲スルモノハ更ニ前條ノ願出ヲナシ許可ヲ受ケヘシ

第百十六條 本員及後備軍召集ノ際近衛編員兵員近衛集合地ヲ經テ寄留地ヨリ直ニ召集地ニ到ル者ノ全地ヨリ召集地マテノ旅費ヘ到着ノ上近衛ヨリ追給セラルヘシ

第百十七條 寄留地ヨリ直ニ鐵道召集地ニ到ル許可ヲ得ル者ハ其通報人ノ送付セラルル令狀並ニ旅費ヲ受領セシトキヨリ二十四時以内ニ發程スヘシ

第百十八條 寄留地ヨリ直ニ召集地又ハ近衛集合地ニ到ル許可ヲ得ル者ニテ疾病其他事故ニテ應召スル能ハサル所書ハ通報人ヨリ令狀受領後必ス二十四時以内ニ居住地ヲ發送シ通報人ヲ經テ本籍地戸長ニ差出スヘシ

但令狀及旅費ハ終ニ應召スル能ハサル時ニ至リ返納取計フヘシ

第百十九條 條例第四十三條第五十八條第五十九條ノ疾病逃亡其他ノ事故ニテ召集ニ應ジ難キ屬書ハ本人又ハ親戚ヨリ其令狀受領後必ス二十四時以内ニ戸長ニ差出スヘシ

但條例第七十四條第七十五條第八十八條第八十九條ノ屆書ハ二日以内ニ戸長ニ差出スヘシ

第百二十條 條例第四十三條第五十九條第七十五條第八十九條第六百六條第六百三十六條ノ事由書ハ一駐在巡査ノ証認ヲ受ルモ妨ケナシ

但犯罪ノ爲メ不參スル者ニ在テハ刑命宣告書寫又ハ既決犯罪表寫ヲ添ニルトキハ書寫官ノ証認ヲ要セス

第百二十一條 充員及後備軍召集ノ際ニ疾病其他ノ事故ニテ召集ニ應セサル兵員ノ令狀ハ終ニ召集ニ應スルコト能ハカリントキ戸長ヲ經テ郡長ヘ返付スヘシ

第百二十二條 本員及後備軍召集ニ應ジタル編員兵員解散ヲ命セラレ既ニ歸郷シタルキハ條例第百十九條ニ準テ届出ヘシ

第百二十三條 豫備役後備軍編員ハ官廳奉職ノ者ト雖トモ別命アル者ヲ除クノ外總テ召集アルモノトス

第百二十四條 定時演習召集ニ應スヘキ者疾病其他事故ニテ其演習半迄ニ召集地ニ到着シ難キトキハ準士官以上ハ後備軍司令官下士ハ縣駐在官兵員ハ郡駐在官ヨリ其出頭ニ及ハサル遠テ受ケヘシ

但出頭ニ及ハサル遠テ受ケルトキハ編員ハ戸長ヲ經テ郡長ニ兵員ハ戸長ニ令狀ヲ返付スヘシ

第百二十五條 定時演習召集ニ際シ編員兵員ハ父母ノ重病或ハ死亡等ノ故ヲ以テ二週日以内ノ召集延期ヲ許可セラルモノトス其出頭ノ手續左ノ如ク

第一項 編員ハ後備軍司令官ニ兵員ハ縣駐在官ヘ願出許可ヲ受ケルモノトス

但願書ハ第十九號書式ニ據ルヘシ

第二項 疾病ハ醫師診斷書死亡ハ警察署又ハ分署(警察署又ハ分署ナキ地ハ戸長役場)ノ證明書ヲ願書ニ添付スヘシ

第三項 前二項ノ願書ハ戸長部長郡駐在官ヲ經テ縣駐在官ヘ差出スモノトス

第四項 兵員ノ願書ハ戸長ノ與書証印ヲ要スルモノトス

第百二十六條 前條延期許可ノ指令文ハ左ノ如ク尤其出發時日トハ召集ヲ命セラレ郡里ヲ發スルノ當日ヲ以テ初日(發ハハ一日行程ハ十里計トシ鐵道ヨリ召集地又ハ集合地迄)トスルカ故ニ出頭者ニ於テ再度出發ノ期日ヲ誤解セサル様注意スヘシ

但延期ノ許可ヲ得其演習半迄ニ召集地ニ到達シ館ハサルモノハ本則第百二十四條ノ例ニ據ルモノトス

指令文  
願ノ趣出發時ヨリ何日間延期願屆候事  
但何月何日參着當日ト心得ヘシ

第百二十七條 定時演習召集ニ在テハ常分ノ内豫備役編員並ニ後備軍編員兵員ハ之ヲ召集セサルモノトス

第百二十八條 近衛編員兵員ヲ鐵道ニ合併シテ定時演習召集ヲ行フトキハ其令狀ハ鐵道ノ令狀ニ近衛ノ文字ヲ記入スルモノトス



第百二十九條 近衛兵員ヲ鎮臺兵ト混合演習ヲ行フトキハ集台地參着場所ハ鎮臺兵ト同一ナルモノトス

第百三十條 條例第十九條第二項ノ場合ニアリテ鎮臺兵ノ設ケアル迄ハ近衛騎兵ハ召集セザルモノトス

第百三十一條 兵員ハ點呼令狀ニ記載シタル時限ニ違ハサル様點呼場所へ出頭スヘシ

第百三十二條 點呼召集ニ際シ條例第百三十六條ノ不參屆書ハ必ス其出會時限迄ニ戸長ヲ經テ那駐在官ニ送  
出スヘシ

第百三十三條 寄留地ニ於テ點呼ニ應セント欲スル者ハ第十七號書式ニヨリ軍管外ニ在テハ後備軍司令官へ  
軍管内ニ於テハ縣駐在官へ願出ヘシ

第百三十四條 豫備役後備軍員兵員歸休兵賭博犯懲罰期限内ハ召集ヲナササルモノトス

第百三十五條 豫備役後備兵員ニシテ徵兵令第二十條ノ各項ニ當ルモノハ演習召集點呼召集ヲナササルモノ  
ナルニ依リ該條ノ資格ヲ得又ハ之ヲ失フアルトキハ戸長ノ與書証印ヲ以テ那長ヲ經テ那駐在官へ願出ヘシ

第一號書式 用紙適宜

送達 証

何召集達(通牒)何乘(令狀)何枚送達

月 日 午前何時 午後何時 何分發 官姓 名印

(月) 日 午前何時 午後何時 何分發 官姓 名印

一發送官ハ本署ヲ發送書類ニ添付シテ送受領官ハ括弧内書例ノ如ク記入押印シテ之ヲ脚夫ニ返付スヘシ又  
電信ニ係ルモノハ其受領ノ趣ヲ單簡ニ電信ニテ返報スヘシ

第二號表

陸軍召集軍用旅舎設置場所

郡名	町	村	名
----	---	---	---

島根	美保關	加賀浦	本庄	松江
秋鹿	秋鹿			
意宇	揖屋	松江	湯町	玉造
能義	荒島	安來	廣瀬	百比田
仁多	八代	三澤	湯村	三成
大原	大東	大東下分	木次	加茂中
飯石	三刀屋	掛合	頼原	赤名
出雲	下庄原	上直江		
楯縫	平田			
神門	大津	今市	杵築	久村
安渡	波根東	波根西	大田	池田
遷摩	久利	大森	西田	福光
邑智	祖式	川本	高見	三日市
那賀	都賀本郷	濱原	柏淵	川羽
美濃	津野	今利	上府	下府
	山本	益田	横田	高津
		見		小濱
				飯浦
				黒谷
				都茂



鹿	足	青原	津和野	日原	七日市	六日市
周	吉	西郷				
海	士	菱				
知	夫	浦郷				

第三號書式 用紙普通用半紙罫紙

證明書

何縣何郡(區)村(町)住  
 (近衛)豫備役(後備)兵(歸休兵)  
 (官)何兵何等(官) 氏 名

右者今般何々召集ニ應シ通行ノ際何郡何村(町)ニ於テ何川暴波渡船難相成(何々)通行難相成(何月何日午後何時ヨリ何日午前何時マテ同村(町)氏名方ニ滞留候儀相違無之此段證明候也

島根縣何警察署(何郡村町)長(官) 氏 名 印

第四號書式 書面證明候事

島根縣何警察署長(何分署長)(何駐在所詰)  
 官 氏 名 印

一本人書面ノ余白ニ黒書スルモノトス尤其余白ナキトキハ別紙ヲ添ヘ記載シ印ヲ爲スヘシ

第五號書式 用紙普通用半紙罫紙

廣島鎮臺第一充員召集ノ令アリ速ニ着手スヘシ  
 年 月 日 郡長 氏 名

以下右文例ニ據ル

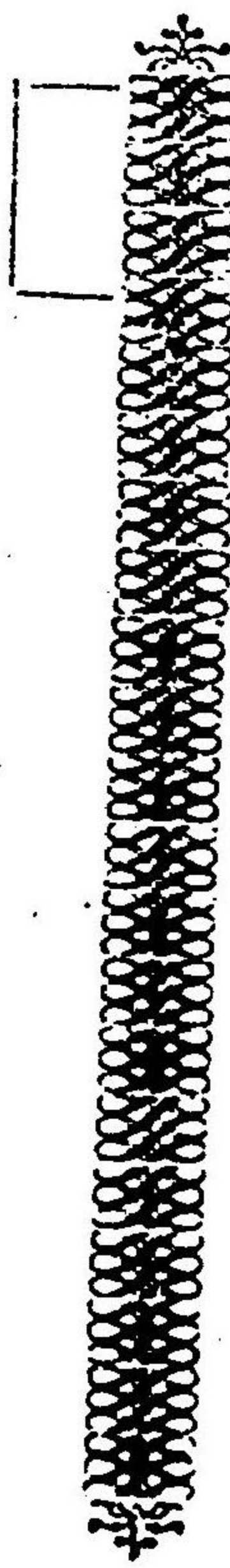
廣島鎮臺第二充員召集ノ令アリ速ニ着手スヘシ  
 廣島鎮臺後備軍艦員(兵員)召集ノ令アリ速ニ着手スヘシ  
 近衛充員召集ノ令アリ速ニ着手スヘシ  
 但何月何日午前何時廣島ニ參着セムヘシ  
 近衛後備軍艦員(兵員)召集ノ令アリ速ニ着手スヘシ  
 但書同上

第六號書式

甲 號	召集旅費送附證	何村(町)戸長役場
一金若干圓		
但艦員何名(兵員何名)分何々召集旅費		
右送附候條乙號領收証差出スヘシ		
年月日午前何時何分	何郡長 氏 名 印	



發送官衙ノ印



乙號

召集旅費領收証

一金若干圓

但職員何名(兵員)分何々召集旅費

右正ニ領收候也

年月日午前何時何分

何村(町) 戸長 氏名印

一用紙適宜但甲乙一紙ニシテ中斷スヘキ製トス故ニ戸長ハ甲號証ヲ受領シ乙號証ニ年月日時刻ヲ記シ署名捺印シテ脚夫ニ返附スヘシ又定時演習召集ノトキハ時刻ヲ記入ニ及ハス

第七號書式 用紙半紙堅四ツ切

証

一召集令狀

但第一充員(後備軍)(近衛後備軍)(演習)(點呼)召集

右正ニ領收候也

年月日午前何時何分

那村(町)住

(近衛)預備役(後備軍)職員(歸休兵)

官(何兵何等)

氏名印

(近衛)預備役(後備軍)職員(歸休兵)

官(何兵何等)氏名何縣(何那何村(町)寄留中)通報人(他出中ニ付親族)

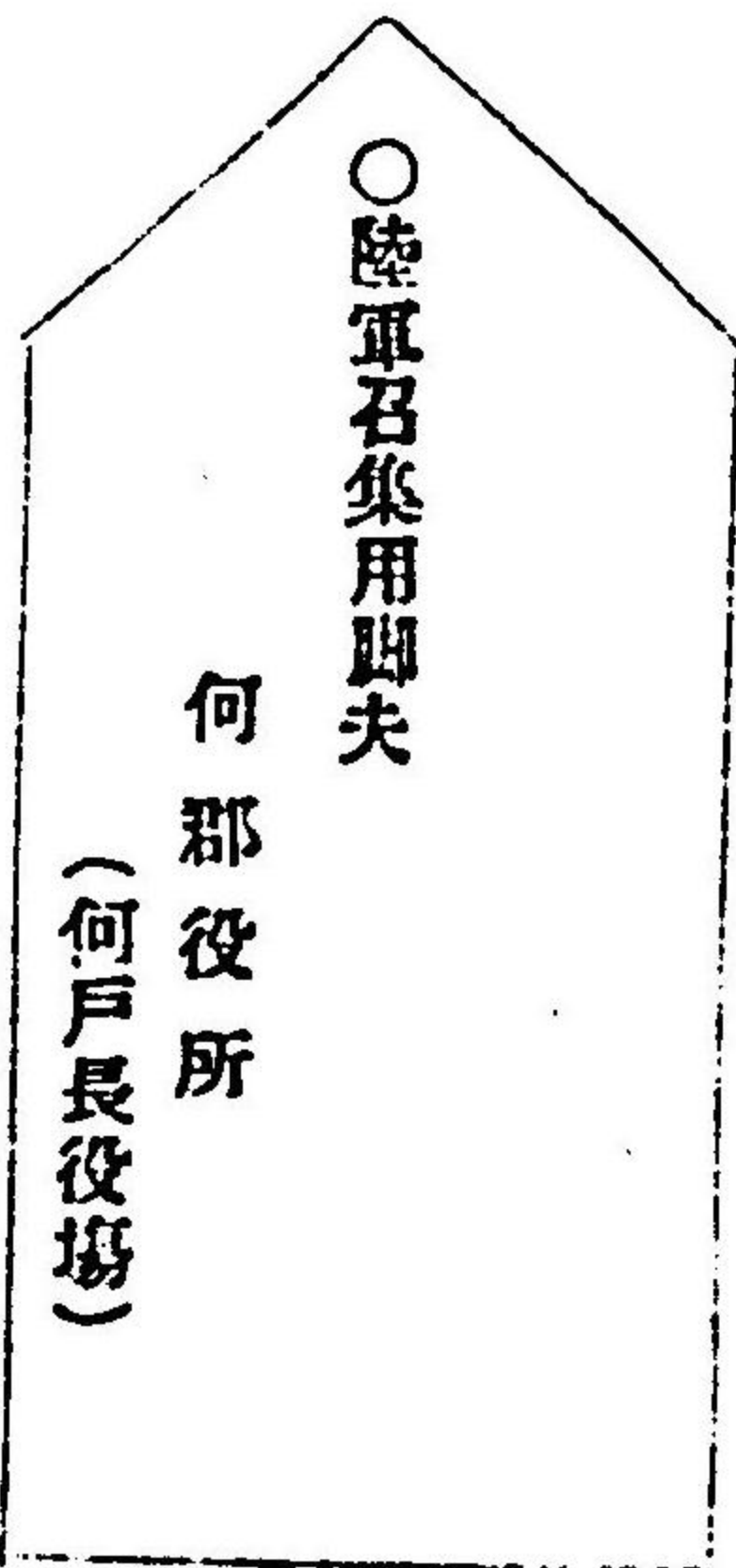
氏名印

何郡長(戸長)氏名殿

一定時演習召集點呼召集ニハ領收ノ時刻ヲ記入ニ及ハス

第八號離形

木札 木質寸法適宜 表裏面トモ同様ノ文字ヲ記シ役所役場者ノ捺印ヲ捺スヘシ



●第六類 ○兵事 (召集事務)







日午何時何分  
 後何日午前何時  
 後何日午前何時  
 後何日午前何時  
 時何分  
 遠城何里何丁  
 著何日午前何時  
 後何日午前何時

右之通ニ候也  
 年 月 日  
 何郡長氏 名印

第十三號表

陸軍諸兵臨時召集旅費支出金庫區域一覽表

國名	郡名	名	金庫名
出	島根	秋鹿	意字
能	能義		
仁	多	大原	
飯	石		
出	雲	福	神門
石	美濃		
那	那賀		
邑	智		
遙	摩	安濃	
美	濃		
濱田	全	濱田	全
川本	全	川本	全
佐摩	全	佐摩	全
今市	全	今市	全
掛合	全	掛合	全
大東	全	大東	全
廣瀬	全	廣瀬	全
松江	全	松江	全
廣瀬	全	廣瀬	全
濱田	全	濱田	全
津和野	全	津和野	全
西郷	全	西郷	全

見 鹿足 全 津和野全 西郷全

第十四號書式 用紙普通用半紙野紙

何郡豫備役(後備役)(飯休兵)現員表

明治何年何月末日

年	兵種			計	年	兵種			計
	步兵	騎兵	砲兵			步兵	騎兵	砲兵	
何年					何年				
何年					何年				
何年					何年				
計					計				

一 總員ノ員數ハ本表ノ餘白ニ記載スヘシ  
 一 一郡別ニ調製スヘシ

第十五號書式 用紙半紙堅二ツ切

一金何圓何錢

是ハ何々召集旅費何地迄里程何里十里諸金四十錢  
 右正ニ領收候也

第六類 兵事 召集事務



郡村(町)住  
 (近衛)豫備役(後備軍)職員(歸休兵)  
 官(何兵何等)氏 名印  
 (近衛)豫備役(後備軍)職員(歸休兵)  
 官(何兵何等)氏名何縣何郡何村(町)寄留中  
 通報人 氏 名印

何 郡 長(戸 長)氏 名 殿  
 一定時演習召集ニハ領收ノ時刻ヲ記入コ及ハス

第十六號書式 用紙普通用半紙野紙  
 何々召集事務執行時刻表

警報ヲ揭示シタル月日及時刻	何 郡 何 村 外 何 村 戸 長 役 場	
	何 月 何 日 午 前 何 時 何 分	何 月 何 日 午 前 何 時 何 分
戸 長 役 場 ヲ 離 別	郡 役 所 ヲ 離 別	戸 長 役 場 ヲ 離 別
	役 場 迄 ノ 距 離	自 居 宅 迄 ノ 距 離
何 町 (村)	何 里 何 丁	何 日 午 前 何 時 何 分
	何 日 午 前 何 時 何 分	何 日 午 前 何 時 何 分
戸 長 役 場 ヲ 離 別	郡 役 所 ヲ 離 別	戸 長 役 場 ヲ 離 別
	役 場 迄 ノ 距 離	自 居 宅 迄 ノ 距 離
何 町 (村)	何 里 何 丁	何 日 午 前 何 時 何 分
	何 日 午 前 何 時 何 分	何 日 午 前 何 時 何 分

右之通ニ候也  
 年 月 日 戸 長 氏 名 印

第十七號書式 用紙半紙野紙  
 寄留地ヨリ召集(寄留地ニテ照呼)ニ應ジ度儀ニ付願  
 今般何縣何郡何村(町)何番地(何某方)へ寄留致候ニ就テハ何々召集ノ儀ハ該地ヨリ召集地「集合地」へ  
 (點呼ハ上野ヲ指シ)直ニ應徵致度此段奉願儀也  
 (近衛)豫備役(後備軍)職員(歸休兵)  
 官(年度兵種番號何等)氏 名 印  
 後備軍司令官宛(點呼ハ一軍管内)  
 前書之通相違無之候也

年 月 日 島根縣何郡村(町)戸長 氏 名 印

第十八號書式 用紙半紙野紙  
 寄留中召集令狀其他引受証  
 郡村(町)住  
 (近衛)豫備役(後備軍)職員(歸休兵)  
 官(何兵何等)氏 名

第六類 ○兵事 ○召集事務



右之者何縣何郡何村(町)何番地「何某方」寄留中何々召集ノ命有之候トキハ私ニ於テ該令狀受領ノ上召集  
費ヲ受取速ニ本人へ送達可仕候其他寄留中召集ニ關スル御命令等ハ總テ私引受無違延本人へ通報可仕候也

年 月 日 氏 名 印

何郡長(何村)町(戸長)氏名殿  
一 驅員ノ通報人ハ郡長宛兵員ノ通報人ハ戸長宛トスヘシ

第十九號書式 用紙半紙野紙

定時演習召集延期願

今般定時演習召集ニ應スヘキ處「父」母「重病」ニシテ別紙診斷書ノ通ニ有之「父」母「何月何日死亡別紙證明書  
ノ通ニ有之」候間何月何日迄出發延期御許可相成度此段奉願候也

年 月 日 氏 名 印

後備軍司令官宛(兵員ハ縣  
駐在官宛)

前書之通相違無之候也

年 月 日 氏 名 印

一 兵員ノ願書ノミヘ戸長與書証印ヲ要スルモノトス

●訓令第十號 明治二十一年一月二十三日 郡役所 警察署 戸長役場

客年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中左ノ通增加改正ス

第五十五條へ左ノ二項ヲ增加ス

同表合計區畫ノ金額ハ第二充員召集ノ旅費金ヲ扣除シ記載スヘシ  
國庫金出納本支所へ送付ノ分ニ限リ該表欄外ニ五月十日調(第一次十一月十日調)第二次ノ三字ヲ朱書ス  
ヘシ

第二號表軍用旅舍設置場所中へ秋鹿郡ニ江角能義郡ニ布部、下十年畑神門郡ニ古志色智郡ニ八色石、九日市  
足ニ柿木、長福穩地郡ニ津戸ヲ增加シ出雲郡上直江ヲ直江ト改正ス  
第十三號表中隱岐國ニ係ル召集旅費支出金庫區域左ノ通改正ス

隱	周、吉	穩地	松江全	西郷全
岐	知夫	海士	全	福井全

●訓令第三十六號 明治二十二年二月二十五日 島 郡役所 警察署

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則第十二條第十三條第三十一條第三十五條第七十九條  
及第八十二條刪除ス

●訓令第七十號 明治二十二年四月五日 島 郡役所 警察署

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中左ノ通改正ス  
第十四條中「前條ノ外」ノ四字ヲ刪ス

第七十二條中(明治二十年十月本條訓令第...)  
第百二十二條中兵員ハ下ニ「本縣下ニ於テ」ノ六字ヲ挿入ス

●第六類 ◎兵事 (召集事務)



第三十五條中「第二十條」及「第二十二條」下改。

第二號表別紙ノ通改。

第二號表

陸軍召集用旅舎設置場所

郡名	町	村	名
島根	美保關村	大字美保關	加賀村 本庄村 大字本庄町
秋鹿	秋鹿村	大字秋鹿町	惠曇村 大字江角浦
意宇	揖屋村	湯町村 大字湯町	玉邊村 大字玉邊村 宍道村 大字宍道町
能義	荒島村	大字荒島村	安來町 大字安來町 廣瀬町 比田村 大字西比田町 山佐村 大字山佐村
仁多	布勢村	大字布勢村	赤原村 大字赤原村 三澤町 大字三澤町 三成村 大字三成町 阿井村 大字阿井村
大原	大東村	大字大東町	春殖村 大字大東下分 木次村 大字木次町 加茂村 大字加茂中村
飯石	三刀屋村	大字三刀屋町	掛合村 大字掛合町 額原村 大字額原町 赤名村 大字赤名町 渡多村 大字渡多村
出雲	莊原村	大字下庄原村	直江村 大字直江町
楯縫	平田町		
神門	大津村	大字大津町	今市町 岸築町 大字岸築町 全南村 久村 田岐村 大字小田村 田橋村 大字田橋村
安濃	波根東村	波根西村	大田村 大字大田村 佐比賣村 大字池田村

郡名	町	村	名
遷摩	久利村	大字久利村	大森村 湯里村 大字西田村 福光村 五十音村 温泉津村 大家村 大字大家村
邑智	祖式村	大字祖式村	川本村 大字川本村 高原村 大字高見村 山羽村 大字山羽村 日賣村 大字日賣村 布勢村 大字布勢村 八色村 大字八色村 澤谷村 大字澤谷村 九日市村
那賀	黒松村	大字黒松村	江津村 大字江津村 今市村 大字今市村 濱山町 長濱村 大字長濱村 周布村 大字周布村
美濃	安田村	大字安田村	倉田町 豊田村 大字豊田村 高津村 大字高津村 小野村 大字小野村 飯浦村 大字飯浦村
鹿足	青原村	大字青原村	津和野町 日原村 大字日原村 七日市村 大字七日市村 六日市村 大字六日市村
周吉	西郷中町	全西町	
穩地	津戸村		
海士	福井村	字菱	
知夫	浦郷村		
松江	市		

訓令第九十六號 明治二十三年四月十一日

島 廳 郡役所 警察署  
分 署 市役所 戸長役場  
町村役場

明治二十年訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中別紙ノ通更正削除ス  
一第六條中達ヲ發スノ下「旅費ヲ送付」ノ六字ヲ削ル  
一第二十三條第二項削除

第六類 ◎兵事 ○召集事務



- 一 同條第八項中「及旅費」ノ三字ヲ削ル
- 一 第二十七條第三十二條削除
- 一 第三十三條中「旅費」ノ二字ヲ削ル
- 一 第三十九條第四十三條第四十四條第四十五條第五十四條及第五十五條第三項削除
- 一 第五十六條島司郡市長ハ毎月末日第十號舊式及第十一號舊式ニ據リ豫備後備隊休兵現員及召集人員決ヲ製シ翌月五日期限縣廳ヘ報告スヘシ
- 一 第六十二條削除
- 一 第六十三條前條ノ如ク令狀發送ノ順序ヲ定ムルト雖モ時宜ニヨリテハ緩急ヲ協酌シ役場吏員ヲ派遣シテ令狀ヲ本人ニ交付セシムルモ妨ケナシ
- 一 第六十四條第六十五條中「及旅費」並兩條共但書ヲ削ル
- 一 第七十二條第七十六條削除
- 一 第八十六條中「及旅費」並但書ヲ削ル
- 一 第八十九條定時演習召集ノ令狀ヲ交付シタルトキハ第六號舊式ノ領收証ヲ添スヘシ
- 一 第九十條寄留地ヨリ定時演習召集ニ應スルモノハ令狀ハ通報人ニ下渡本人ヘ送致セシムヘシ
- 一 但寄留地市長戸長町村長ヘ召集ノ旨通知シ併セテ發程時日或ハ不參事由等ノ報知ヲ求ムヘシ
- 一 第九十一條但書
- 一 但明治二十二年ニ陸軍省令第六號ニ據リ返付シタル令狀ハ直ニ島司郡長ニ回付スヘシ
- 一 第九十二條削除
- 一 第九十九條本文中尤以下削除
- 一 第一百八條中「戸長役場」ヲ「所管大隊區司令部官吏所在」必スノ下「令狀」ヲ「旅費」ト更ム
- 一 第一百十條削除

- 一 第一百十四條寄留地ヨリ直ニ召集ニ應シ又ハ近衛集合地ニ到ラント欲スルモノハ召集命令ノ通報人ヲ定メ大隊區司令部ヘ願出許可ヲ受クヘシ
- 一 但願書ハ第十三號舊式ニ據リ市長戸長町村長ノ奥書証印ヲ受ケ監視區長ヲ經テ差出スヘシ且召集命令ノ通報人ハ第十五號舊式ノ証書ヲ製シ下士ニ係ルモノハ戸長町村長ヲ經テ島司郡長ニ差出シ兵員ニ係ルモノハ戸長町村長ニ差出シ市ニアリテハ潭ヲ市長ニ差出スヘシ
- 一 第一百二十四條定時演習召集ニ應スヘキ兵員疾病其他ノ事故コテ演習半途ニ召集地ニ參着シ難キトキハ監視區長ヨリ其出頭ニ及ハサル達ヲ受クヘシ
- 一 但出頭ニ及ハサル達ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ市長戸長町村長ニ返付スヘシ
- 一 第一百二十五條豫備後備下士兵卒止ムヲ得ル事故アリテ定時演習召集ノ猶豫若シハ點呼ノ免除ヲ願フヘシ但父母ノ重病又ハ死亡等ノ事故ニ係ルモノハ疾病ハ醫師ノ診斷書死亡ハ市長戸長町村長ノ証明書ヲ願書ニ添付スヘシ
- 一 第一百二十六條削除
- 一 第一百二十三條寄留地ニ於テ定時演習召集ニ應シ又ハ點呼ヲ受ケント欲スル者ハ第十三號舊式ニ據リ大隊區司令部ヘ願出ツヘシ
- 一 前項ノ許可ヲ受ケタル屆ハ第十四號舊式ニ據ルヘシ
- 一 第一百二十四條第三十五條削除
- 一 第六號第十號第十一號舊式第十三號表第十五號第十七號第十九號舊式ヲ削除シ第七號舊式ヲ第六號第八號舊式ヲ第七號第九號舊式ヲ第八號第十二號舊式ヲ第九號第十四號舊式ヲ第十號第十六號舊式ヲ第十二號第十八號舊式ヲ第十五號トシ第十一號第十三號第十四號第十六號舊式ヲ挿入ス
- 一 第十一號舊式 用紙普通用半紙薄紙



召集人員表

明治何年何月末日

郡市名	第一充員	第二充員	後備	軍	近衛充員	近衛後備軍

將校下士ハ各召集ヲ區別ニ餘白ニ記載スヘシ

第十三號書式 用紙半紙野紙

寄留地ヨリ召集(寄留地ニテ定時演習召集點呼)ニ應シ度儀ニ付願  
 今般何縣何郡(市)何町(村)何番地何某方(寄留致候ニ付テハ何々召集ノ儀ハ(願地ヨリ召集地(集合地))  
 (寄留地演習及點呼ハ上御指) 直ニ應徵致度此段奉願候也  
 (孤内ヲ該地ニテトスヘシ)

年 月 日 (近衛)豫備(役)(後備)兵役(歸休兵)  
 官(年度兵種番號何等) 氏 名 印

大隊區司令官氏名殿  
 前書ノ通相違無之候也

年 月 日 島根縣市長戸長町村長  
 氏 名 印

第十四號書式 用紙半紙野紙

寄留地ニ於テ定時演習召集(點呼)之義ニ付願

今般何縣何郡何町(市)何町(村)何番地何某方(寄留致候ニ付テハ該地ニ於テ定時演習召集ニ應シ(點呼)ノ受ク)度旨願出請可相成何月何日到著(指令符受領)致候間此段及御願候也

年 月 日 (近衛)豫備(役)(後備)兵役(歸休兵)  
 官(年度兵種番號何等) 氏 名 印

第十六號書式 用紙半紙野紙

今般定時演習召集(點呼)ニ應スヘキノ處何々(止ムヲ得ル)ニテ出發(參會)難致候間何月何日迄猶豫(免除)御許可相成度此段奉願候也

年 月 日 (近衛)豫備(役)(後備)兵役(歸休兵)  
 官(年度兵種番號何等) 氏 名 印

大隊區司令官氏名殿  
 前書ノ通相違無之候也

年 月 日 島根縣市長戸長町村長  
 氏 名 印

訓令第百二號

明治二十三年四月十五日

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中別紙ノ變更正ス  
 (別紙)  
 町村役場 分署 市役所 戶長役場

一第二十三條第四項中「第七號」ヲ第六號第五項中「第八號」ヲ第七號ト改ム

第六類 ○兵事 ○召集事務



- 一 第二十六條中「第九號」ヲ第八號ト改ム
- 一 第三十三條中「第十二號」ヲ第九號ト改ム
- 一 第四十二條中「第七號」ヲ第六號ト改ム
- 一 第六十一條第二項中「第七號」ヲ第六號第三項中「第八號」ヲ第七號ト改ム
- 一 第八十條中「第十六號」ヲ第十二號ト改ム
- 一 第一百二條參着場所左ノ通改ム

近衛召集員 廣島市小町 國 泰 寺  
 師團召集員 全市中島本町 惹 仙 寺

一 第九號舊式中「及旅費」ノ三字ヲ削ル  
 ●訓令第百十五號 明治二十三年四月二十五日

島 廳 郡役所 警察署  
 分 署 市役所 戶長役場  
 町村役場

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中別紙ノ通更正ス  
 (別紙)

- 一 第九十一條 定時演習召集ニ應スヘキ兵員疾病其他ノ事故ニテ召集ニ應シ難キ場合ニ於テ明治二十三年十月陸軍省令第六號ニ依リ返付シタル令狀ハ島司郡長ヘ回付スヘシ
- 但本則第百二十四條但書ニ依リ返付シタル下士ノ令狀ハ直チニ島司郡長ニ回付スヘシ
- 一 第百二十四條中(兵員)ヲ下士ト改メ但書左ノ通更正ス
- 但出頭ニ及ハサル達ヲ受ケタルトキハ戶長町村長ヲ經テ令狀ヲ島司郡長ニ返付シ市ニアリナハ市長ニ返付スヘシ

●訓令第百二十三號 明治二十三年五月二十六日  
 島 廳 郡役所 警察署

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則第百八條中「以內」ノ下ニ  
令狀回收後既ニ二十四時以上ヲ過シタル者ハ旅費金受領後即時  
 ●訓令第百四十七號 明治二十三年六月二十三日

分 署 市役所 戶長役場  
 町村役場  
 島 廳 郡役所 警察署  
 分 署 市役所 戶長役場

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則第三十條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加ス  
 第三十一條 豫備役員ニシテ第一充員召集要員タルモノハ平時ニ於テ該人名大隊區司令官若シハ監視區長ヨリ島司郡市長ヘ通牒スルヲ以テ島司郡長ハ戶長又ハ町村長ヲ經テ市長ハ直ニ之ヲ本人ヘ通達シ置キ其召集役令ニ當リ豫備兵同様應徵セシムルモノトス  
 ●訓令第百九十六號 明治二十三年九月十九日

島 廳 郡役所 警察署  
 分 署 市役所 戶長役場  
 町村役場

明治二十年十月訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中左之通改正削除ス  
 但明治二十年十月訓令第三十六號廢止ス  
 第百十四條 寄留地ヨリ直ニ召集ニ應シ又ハ近衛集合地ニ到ラント欲スルモノハ第十三號舊式ニ依リ市長戶長町村長ノ與書証印ヲ受ケ監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ願出許可ヲ受クヘシ  
 前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ通報人ヲ以テ旅費受領人トシ旅費受領人トシテ旅費受領人トシ其住所氏名ヲ監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ届出ツヘシ  
 通報人ノ受領セシ旅費ハ令狀ト同時ニ本人ヘ送致スヘシ







認ムルモノアルトキハ召集ニ應シ難キ届出ヲナサシメ前項ニ依リ取扱フヘシ  
●島根縣訓令第百五號 明治二十六年十月九日

明治二十年十月本縣訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則中左ノ通改正ス  
第五十六條中「毎月末日」ヲ「毎年四月末日及十一月末日」ト改ム  
第六十條中「一回」ヲ「一回」ト改ム

●島根縣訓令第九十四號 明治二十八年九月十日

明治二十年十月本縣訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則第二號表鹿足郡町村名ノ欄ヘ左ノ通追加ス  
藏木村大字田野原

●島根縣訓令第百七號 明治二十八年十一月五日

明治二十年十月本縣訓令第二百二十一號陸軍召集事務取扱細則第百二條中表若場所左ノ通改正ス  
廣島市東白島町 妙風寺

●島根縣訓令第三十二號 明治二十八年三月二十四日

國民兵召集事務取扱細則左之通定ム  
國民兵召集事務取扱細則

國民兵召集事務取扱細則

島 廳	郡役所	警察署
市役所	戸長役場	町村役場
島 廳	郡役所	警察署
警察分署	市役所	戸長役場
町村役場		
島 廳	郡役所	警察署
全分署	松江收稅署	市役所
戸長役場	町村役場	

廿八年訓令  
第四百七號  
號百十九

第一條 島司郡市長戸長町村長ハ毎年四月一日ノ現在員ヲ豫定シ三月一日迄ニ第一種及第二種國民兵召集名簿ヲ別紙第一號書式ニ依リ調製スヘシ  
但名簿ハ召集種類ニ分テ年齢ノ若キ者ヨリ順序ニ編製シ第一種國民兵召集名簿ハ將校同相當官准士官及元下士兵卒職工並ニ各兵科各部ニ區分スヘシ

第二條 島司郡市長ハ前條ノ外第一種及第二種國民兵召集名簿(第一號書式)一冊ツ、ヲ作シ毎年三月二日ニ其屬ヲ發シ大隊區司令官ヘ送付スヘシ

第三條 國民兵召集名簿ノ加除訂正ハ市長戸長町村長ハ戸籍ノ届ニ依リ之ヲ行ヘ一ヶ月分ノ異動ヲ取調シ翌月五日限リ市長ハ大隊區司令官ヘ戸長町村長ハ島司郡長ヘ報告スヘシ

第四條 國民兵甲地ヨリ乙地ニ轉籍スル者アルトキハ市長戸長町村長ハ送籍狀ニ召集種類ヲ付箋シ甲地島司郡市長ヘ乙地島司郡市長ヘ國民兵召集名簿ヲ送付スヘシ

第五條 島司郡市長ハ毎年四月一日ノ現在員ヲ豫定シ三月一日迄ニ國民兵召集人員表ヲ第二號書式ニ依リ調製シ三月二日其屬ヲ發シ大隊區司令官ヘ送付スヘシ

第六條 島司郡長松江收稅署長ハ國民兵召集旅費概算表ヲ別紙第三號書式ニ依リ調製シ毎年三月二日其屬ヲ發シ大隊區司令官ヘ送付スヘシ

第七條 國民兵召集規則(以下單ニ規)第一條第二種及第三種ノ年齢ハ召集年ノ十二月ヲ以テ計算スヘシ

第八條 召集員中誕生年月相同キ者ハ抽籤ヲ以テ順序ヲ定ムヘシ

第九條 六週間現役滿期ノ者及元第二種備徵員ヨリ國民兵役ニ編入ノ者ヨリテ第三種國民兵年齢内ニ在ル者並ニ海軍退役准士官以上ノ者及豫備徵員ニシテ國民兵中ノ者ハ第四種ニ調査スヘシ

第十條 規則第一條ノ各種國民兵召集ノ際左ノ者ハ配賦人員ノ許ス限リハ召集セテ尤之ヲ除キタル爲



























第三號書式

明治何年集合地(三次)ニ到ル國民軍召集旅費概算表

郡市	第一種國民兵		第二種國民兵		第三種國民兵		第四種國民兵		金額計	旅費支出金額
	人員	旅費	人員	旅費	人員	旅費	人員	旅費		
何郡(市)										
備考										

一細則第十七條該當ノ未入營輪卒ハ第四種國民兵ニ調査シ其人員旅費ハ左方ニ朱記シ金額計ニ合算スヘ  
 一集合地ハ廣島縣三次郡三次町トシ一日ノ行程ハ陸路十二里詰浪車路二百哩海路百海里トシ計算スヘ  
 ●訓令兵第七號 明治二十三年二月二十日 隱岐島歸 島根外二郡役所 美濃郡役所  
 豫備後備下士兵卒簡閱點呼所ニ往復ノ旅費日當ハ官給不相成儀ニ候處島嶼在住者コシテ實際渡航ニアラサレ  
 ●點呼所ニ出會難致者ニアリテハ船賃ハ實費ヲ給與シ又渡航ニ臨ミ難風等コト不得止滞在ヲ要シタル時ハ戶  
 長(町村長)ノ証明書ニ依リ滞在日當支給相成候條自今右該當ノ者ハ各自請求書ヲ徵シ當歸ニ申出ヘ  
 ●島根縣訓令兵第十二號 明治二十五年五月四日 隱岐島歸 (某)郡役所 松江直稅分署  
 豫備役兵及歸休兵勤務演習召集ニ際シ所轄大隊區司令部ヨリ召集人名ノ通知ヲ受ケタルトキハ別紙甲號雛形  
 ノ旅費請求書正副二通ヲ製シ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ第五師團司令部ニ發送シ召集事務終レハ十日  
 以内ニ丙丁戌號ニ依リ証書ヲ整理シ各出納官吏ヨリ直接第五師團司令部ニ送付スヘ  
 但本文調査上參考ノ爲メ別紙乙號陸軍給與令及同細則中必要ノ個條沿革書添付ス  
 ●甲號  
 明治何年何月定時演習召集旅費前設金額請求書  
 一全參圓五拾錢

廿五年訓令  
共第十八號

但何市(郡)外何郡豫備役兵及歸休兵召集旅費概算  
 右金員請求候也

明治何年何月何日 出納官吏 何 之 某 印  
 (決算ニ至リ不足スルトキハ手數料不少ニ付余分ヲ見込概算受ヲ要ス)  
 ●乙號

陸軍給與令沿革

第七十五條 豫備後備准士官以上及下士兵卒並歸休兵定時演習召集ノトキハ旅費ヲ給ス其金額ハ第三十六  
 表ニ依ル但船舶ニアラサレハ旅行ノ難キ地方コソテ本文旅費金額ニ據リ難キトキハ其地方ニ限リ實費拂ツ  
 爲スコトヲ得「前項旅費ハ近傍三里未滿ハ之ヲ給セス三里以上六里未滿ハ半額六里以上ハ全額又十里以上  
 端里數一里未滿ハ給セス一里以上六里未滿ハ半額六里以上ハ全額ヲ給ス但三里未滿ト雖トモ第六十七條第  
 二項ノ場合ニ在テハ船舶料ヲ給ス其金額ハ第三十七表ニ依ル」召集地到着宿泊セムルトキハ泊泊數ニ應  
 シ滞在日當ヲ給ス其金額ハ第三十六表ニ依ル  
 參 考

第六十七條第二項 三里未滿ト雖トモ船舶料ニアラサレハ旅行ノ難キ地方ノ船舶料ハ一海里以上又ハ下士以下  
 傷痍疾病ニ依リ歩行シ難キトキノ車馬料ハ一里以上之ヲ給ス

第三十六表

名	別	陸路	海路	在	日	當
豫備后備將官同相當官	別	貳圓五拾錢	六拾錢			

●第六類 ○兵事 (召集事務) 八五







出納官吏

何々直(同)既分署長又ハ  
何々何々或ハ何々書記 何 之 某 印

一金四拾五錢

証

但何縣何島ヨリ何所ニ到ル航海賃

右正ニ受領候也

年 月 日

何 九 船 長

何 之 某 印

(但豫備兵何ノ某何縣何島ヨリ何所迄ノ航海賃陸路金額ニ據リ難キニ付實費支拂ノ分)

●丁號

明治何年何月定時演習召集旅費決算返納証書

一金貳拾五錢

但何市(郡)外何郡豫備役兵及歸休兵召集旅費前受金參圓五拾錢ニ對スル決算殘金

右返納候也

出納官吏

何々直(同)既分署長又ハ  
何々何々或ハ何々書記 何 之 某 印

明治何年何月何日

(正副ニ通テ要ス)

●戌號

明治何年度軍事費

何 年 何 月

仕 拂 計 算 書

名 應

●第六類 ○兵部 ○召集事務



















●島根縣訓令兵第四十號 明治二十七年九月六日

陸軍臨時召集ノ將校下士兵卒中自己ノ便宜ニ依リ旅費不受取儘出發セシモノアルトキハ其最近親族ノ領收証書ヲ徵シ旅費仕拂ヒ獨身ナル者ハ仕拂証書中除名ニ仕拂未済ノ報告ニ止メ決算整理スル儀ト心得フヘシ

●島根縣訓令兵第二十四號 明治二十七年七月五日 島根縣 郡役所 市役所

海軍臨時召集旅費支出規程ニ依リ召集旅費概算表ヲ海兵團ニ送付シタルトキハ該表第一通當國ニ送付スヘシ

●島根縣訓令兵第二十六號 明治二十七年七月十日 警察分署 松江收稅署 市役所

海軍臨時召集旅費支給場所及支給區域別紙之通相定候條此旨心得フヘシ

旅費支給場所

- 隱岐 島 郡
- 知夫郡浦郷村戸長役場
- 松江 收稅署
- 島根秋鹿意宇郡役所
- 能義郡 役所
- 仁多大原郡 役所
- 飯石郡 役所
- 出雲楯縫神門郡役所
- 瀨摩安濃郡 役所
- 邑智郡 役所

旅費支給區域

- 周吉郡 隠地郡
- 知夫郡 海士郡
- 松江市
- 島根郡 秋鹿郡 意宇郡
- 能義郡 大原郡
- 飯石郡 楯縫郡 神門郡
- 出雲郡 瀨摩郡
- 邑智郡 安濃郡

- 那賀郡 役所
- 美濃郡 役所
- 鹿足郡 役所

- 那賀郡
- 美濃郡
- 鹿足郡

●島根縣訓令兵第二十七號 明治二十七年七月十四日

海軍臨時召集旅費支出規程第一條ノ召集旅費概算表ハ本年三月勅令第三十四號海軍內國旅費規則第十五條第二項ニ依リ計算シ全規程第七條ノ仕拂計算書及証憑書類ハ明治二十六年十月會計検査院連第三號現金前渡命仕拂証明規程ニ依リ調製スヘキ義ト心得フヘシ

全 號 松江市役所

海軍臨時召集旅費支出規程第一條ノ召集旅費概算表ハ本年三月勅令第三十四號海軍內國旅費規則第十五條第二項ニ依リ計算スヘキ義ト心得フヘシ

全 號 松江收稅署

海軍臨時召集旅費支出規程第七條ノ仕拂計算書及証憑書類ハ明治二十六年十月會計検査院連第三號現金前渡命仕拂証明規程ニ依リ調製スヘキ義ト心得フヘシ

●島根縣訓令兵第三十號 明治二十七年七月二十三日 島根縣 郡役所

海軍臨時召集ノ發令アリタルトキハ別紙書式ニ依リ合達及旅費交付時間表ヲ製シ事務執行後五時以内ニ其期「役所」ヲ發シ本縣ニ差出スヘシ

全 號 松江市役所

海軍臨時召集ノ發令アリタルトキハ別紙書式ニ依リ合達時間表ヲ製シ事務執行後五時以内ニ其役所ヲ發シ本縣ニ差出スヘシ

全 號 松江收稅署

●第六類 ◎兵事 C召集事務



縣へ差出スへ

本表ハ島根縣訓令兵第三十四號ニテ改正ノ分ヲ記載ス  
海軍召集執行時間表

島根郡役所

何月何日 自午前何時何分 至午前何時何分	島根郡役所へ着	此項ハ縣廳ヨリ電報或ハ達書ノ達ナル日時トス
全	全所ニテ費消	此項ハ令狀配達準備ヨリ發付ヲ終リタル時間トス
全	出納官吏旅費受領	此項ハ仕拂命令到達ノトキヨリ起算ノ金庫ヨリ現金ヲ受領シ然レテ支給準備整ヒタル迄ノ時間トス
全	何所場ニ於テ旅費支給ス	此項ハ出納官吏ニ於テ旅費支給ヲ始メタル時ヨリ終リタル時間トス
全	何某令狀受領後費消	此項ハ應召者へ令狀交付ノ時ヲ始メトシ旅費交付ヲ終リタル迄ノ時間トス但應召員毎ニ記載ヲ要ス

海軍召集執行時間表

松江市役所

何月何日 自午前何時何分 至午前何時何分	市役所へ着	此項ハ縣廳ヨリ達書ノ達ナル日時トス
全	全所ニテ費消	此項ハ令狀配達準備ヨリ發付ヲ終リタル時間トス
全	何某令狀受領後費消	此項ハ應召者へ令狀交付ノ時ヲ始メトシ旅費受領ヲ終リタル迄ノ時間トス但應召員毎ニ記載ヲ要ス

海軍召集旅費取扱時間表

松江收稅署

何月何日 自午前何時何分 至午前何時何分	出納官吏旅費受領	此項ハ支拂命令到達ノトキヨリ起算ノ金庫ヨリ現金ヲ受領シ然レテ支給準備整ヒタル迄ノ時間トス
----------------------------	----------	--

徵發事務

訓令第二十九號 明治十九年九月十六日  
徵發事務取扱規則別冊ノ通之レヲ定ム

郡役所 戸長役場

- 第一條 本則ハ徵發令及徵發事務條例ニ基キ物件徵發ノ準備供給並ニ賠償等ニ關スル取扱ノ順序手續ヲ定ムルモノニテ平時戰時ヲ問ハス時ニ臨ミ混滞失機ノ弊ナカランコトヲ要スルヲ以テ主眼トス
- 第二條 郡ニ於テ徵發ノ賦課ヲ受クルニ二種アリ
  - 一 陸海軍官憲ヨリ直ニ徵發スル時
  - 二 當廳ヨリ賦課スル時
- 第三條 町村ニ於テ徵發ノ賦課ヲ受クルニ三種アリ
  - 一 陸海軍官憲ヨリ直ニ徵發スル時
  - 二 當廳ヨリ賦課スル時
  - 三 郡長ヨリ賦課スル時
- 第四條 徵發令第十二條第一項ノ物件當廳ニ於テ徵發ヲ受ケタルトキハ其供給力ヲ考慮シ一郡又ハ數郡若クハ數町村ニ賦課シテ供給セシムルヲ定例トス但時機切迫ノ場合ニ於テハ直ニ人民ニ賦課スルコトアルヘシ
- 第五條 郡長ニ於テ本則第二條ノ賦課ヲ受ケタルトキハ部内一町村又ハ數町村ニ賦課シテ供給スルヲ定例トスヘシ但時機切迫ノ場合ニ於テハ直ニ人民ニ賦課スルモ妨ケナシ

第六類 兵事 徵發事務

廿年訓令第... 廿一年訓令第... 廿二年訓令第... 廿三年訓令第... 廿四年訓令第... 廿五年訓令第... 廿六年訓令第... 廿七年訓令第... 廿八年訓令第... 廿九年訓令第... 卅年訓令第...



第六條 本則第四條及第五條ヨリ徵發令第十二條第一項物件ノ賦課ヲ受タル郡町村ニ在テハ先ツ其部内營業者ニ賦課シテ不足ヲ生スルモ之ヲ他ノ人民ニ賦課セズ其旨直ニ急使ヲ以テ其賦課狀ヲ發シタル官廳ニ報告スヘシ

第七條 郡町村ノ徵發區ハ其役所役場所轄内ヲ以テ一郡町村ト見做スヲ以テ其郡町村ノ内何レニ向ツテ賦課スルモ其役所役場内ヨリ供給スヘシ

第八條 徵發事務條例第十條ノ場合ニ於テ徵發令第十二條第一項物件ノ徵發書ヲ郡又ハ町村ニ直ニ付セラルタルキ郡長戸長ハ本則第五條第六條ニ據リ之ヲ賦課スヘシト雖モ若シ其郡又ハ町村内營業者ニ於テ其數ニ滿ル能ハサルトキハ直ニ他ノ人民ニ賦課スヘシ

第九條 前條ノ徵發書ヲ受ケタルトキハ勿論其他總テ郡長戸長ニテ陸海軍官憲ヨリ徵發ノ賦課ヲ受ケタルトキハ物件數及差出場所等急使ヲ以テ速ニ當廳ニ報告シ戸長ハ郡長ニモ通報スヘシ

第十條 當廳ニ於テ徵發令第十二條第一項ノ徵發ヲ課セラレタルトキ又ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ時宜ニヨリ便宜ノ地ヲ擇ミ徵發事務所ヲ設ケ官吏ヲ派遣シ徵發ニ應スル諸般ノ事務ヲ監督セシムルコトアルヘシ

第十一條 前條徵發事務所ヲ開設スルトキハ郡長戸長ハ徵發諸般ノ事件ヲ速ニ該所ニ申出ヘシ

第十二條 徵發事務條例第八條ニ掲グル資格ヲ有スル証人ヲ得ルコト能ハサルトキハ戸長ハ他ニ相當ノモノヲ撰ヒ之レニ該ツヘシ

第十三條 徵發物件差出場所ニハ縣官又ハ郡町村吏ヲシテ護送セシメ陸海軍官憲立會物品ノ量數等ヲ検査シ引渡ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルハ時ニ臨ミ縣官又ハ郡吏ノ報告ヨリ總テ戸長ニ於テ負擔スヘシ尤モ其輸送ハ至急ヲ要スルヲ以テ戸長ハ其人夫ニ對シ附録第一號使役証ヲ交付シ置キ追テ賃金ト交換附與スヘシ

第十五條 當廳及郡長戸長ニ於テ徵發ノ賦課狀ヲ發スルトキハ徵發事務條例附錄徵發書ノ式ニ準シ其狀ノ番號品名量數差出場所及供給月日等ヲ詳記シテ甲乙二通ノ書函ヲ製シ其中央ニ主任者ノ契印ヲ施シ甲ヲ其廳ノ根帳トシ乙ヲ其應スルモノニ付スヘキモノトス但乙ノ賦課狀ヲ發シタル後供給不足アルトキ不足高及其事由又ハ賠償スヘキ金額等須要ノ事項ハ主任者ニ於テ其狀ノ裏面及甲ノ根帳ニ必ラス朱書認印シ置クヘシ

第十六條 當廳吏員及郡長戸長ハ徵發物品受領ノ際必ラス簡易ナル領收書ヲ交附スヘシ但陸海軍官憲ニ於テ徵發事務條例第十七條ニ據リ徵用濟ノ後受領証書ヲ發布スルモノニ在テハ當廳吏員及郡長戸長ニ於テモ全條ニ準據シ受領証ヲ發スヘシ

第十七條 郡長ハ徵發事務條例第四十一條ニヨリ人馬供給ノ組合町村ヲ定メタルトキハ兩郡長連署ノ上其手續ヲ當廳ニ届出ヘシ

第十八條 郡長ハ徵發令第三十五條及第三十八條ニ示サレタル全令第十二條第二項物件ノ借貸及該操業者ノ雇賃並ニ全條第三項人夫ノ雇賃等其地平常ノ價格ニ示サレタルヲ調査シ賃價表ヲ製シ常ニ其役所ニ備置クヘシ

但戸長ハ其部内ニ係ル本條ノ賃價表ヲ其役場ニ備置クヘシ

第十九條 戸長ハ徵發令第四十條第四十一條第一項第二項第四十二條乃至第四十五條及第四十七條乃至第四十九條ニ示サレタル全令第十二條第五項物件ノ代價全條第六項物件ノ定賃又ハ該操業者ノ給料全條第七項ノ定賃全令第二十七條ノ場合ニ於ケル操業者ノ定賃物件ノ代價損料全令第十二條第九項並ニ第十三條第一項第三項第四項物件ノ代價損料全條第二項ノ雇賃等其地平常ノ價格ニ示サレタルヲ調査シ賃價表ヲ製シ常ニ

第六類 ◎兵事 C 徵發事務



其役場ニ備置シヘン

第二十條 郡戸長ハ前二條ノ平常賃價及價格ヲ豫テ部下人民ニ周知セシメ置クヘン

第二十一條 徵發物件ヲ差出場所へ輸送スル費用ハ各徵發區ノ負擔タルヲ以テ郡長戸長ニ於テハ其費用徵收支出ノ方法ヲ便宜定ムヘシ尤モ其方法ヲ規定又ハ變更スルトキハ戸長ハ郡長ヲ經郡長ハ直ニ當廳へ届ヘン前項輸送費ノ縣ニ係ルモノハ當廳ヨリ下付スヘキニ付戸長ハ明細書ヲ添へ其額ヲ郡長へ申出郡長ハ一郡ヲ取總メ請求方申出ヘシ

但本條賃價ハ本則ニ據リ調査セル地ノ平常賃價ニ依ルモノトス

第二十二條 陸海軍官憲ヨリ徵發物件賠償金請求ノ月日及場所ノ指示アルトキハ徵發事務條例第四十三條ニ從ヒ附録第二號雛形ニ準シ計算書ヲ調製シ受領証票ヲ添へ其請求ヲ爲スヘン

第二十三條 徵發令第十二條第一項物件ノ賠償金額ハ本縣下松江<sup>松江縣</sup>廣瀨<sup>廣瀨縣</sup>安來<sup>安來縣</sup>大東<sup>大東縣</sup>木次<sup>木次縣</sup>掛合<sup>掛合縣</sup>直江<sup>直江縣</sup>平田<sup>平田縣</sup>今市<sup>今市縣</sup>杵築<sup>杵築縣</sup>大森<sup>大森縣</sup>大田<sup>大田縣</sup>川本<sup>川本縣</sup>濱田<sup>濱田縣</sup>益田<sup>益田縣</sup>津和野<sup>津和野縣</sup>西郷<sup>西郷縣</sup>浦郷<sup>浦郷縣</sup>ノ前三ヶ年間ノ平均價ヲ以テ之レヲ定ム

第二十四條 前條ノ箇處ニ從ヒ郡長ハ其管地ノ前三ヶ年間ノ平均物價表ヲ附録第三號書式ニヨリ調製シ毎年二月盡日限リ當廳へ差出スヘン

第二十五條 郡長ハ徵發事務條例第二十一條ニヨリ調製スル徵發物件表ハ二通及附録第四號一ニノ書式ニヨリ三ヶ年毎ニ徵發牛馬車輛表並ニ徵發物産表各一通ヲ調製シ翌年二月盡日限リ當廳へ差出スヘン但前年ニ比較シ著シキ増減アルモノハ其理由ヲ副申スヘン

第二十六條 徵發物件表ハ左ノ諸項ニヨリ調製スヘン

- 一 本表ハ美濃紙ヲ用ヒ一郡毎ニ一冊ニ調製シ冊尾ニ某郡役所ト記シ其役所印ヲ押捺スヘン
- 二 各戸坪數ハ其總坪數ハ凡ソノ居住シ得ヘキ所ニシテ自家ノ起臥及營業ニ必要ナル場所又ハ學校ニ使用スルモノモ算入ス

三 人夫ハ第一豫備役員ニシテ力業ニ從事スルモノモ總テ算入スヘン

四 庫廩ハ貸庫貸廩ノ外自家ノ使用ニ供スルモノヲトモ暫ク空虛トナシ貸用スルモ支障ナキ倉庫又ハ營業上他人ノ牛馬ヲ繫泊セシムル庭園モ亦算入ス

但其箇數ノミヲ記入スヘキモノトス

五 官廩ハ民家及寺院ヲ使用スルモノモ算入スヘン

六 寺院ハ其數ヲ合算記入ス若シ其全部若シハ幾部ヲ以テ官署又ハ學校トナスモノモ算入スヘキモノトス但坪數ハ一寺院内幾軒數アルモノ内陣ヲ除キ其數ヲ合算記入スヘン

七 學校ハ民家若シハ寺院等ヲ使用スルモノモ記入スヘン但一學校内幾軒數アルモノ之ヲ分別セシ其軒數及坪數ヲ合算記入スヘン

八 寺院及學校坪數ハ其建坪ヲ算スヘン

九 水車ハ一日一石以上ヲ搗春スル箇數ヲ記入スヘン

十 病院ハ箇數ノミヲ記入スヘン

十一 職工ハ徵發事務條例附録第三號書式ノ一ニ記載セル順序ニ隨ヒ記入スヘキモノトス

十二 本表坪數ハ總テ坪位ニ止メ其以下ハ四捨五入ノ法ヲ用ヒ算スヘン

第二十七條 郡長ハ附録第五號一ニノ書式ニヨリ毎年十二月三十一日現在ヲ以テ船舶表及濱船表ヲ調製シ毎年二月盡日限リ當廳へ差出スヘン但郡内ニ於テ新ニ構造シ若シハ買入レタル濱船アルトキハ全書式ノ三ニヨリ濱船表ヲ調製シ其時々當廳へ差出スヘン

第二十八條 前條船舶濱船表ハ定繁地ニ於テ調査スヘン

第二十九條 徵發令第十二條第一項ノ物品ハ戸長ニ於テ毎年十二月三十一日現在ノ量數ヲ取調附録第六號書式ニヨリ物品現在表二通ヲ製シ翌年二月十日限リ郡長ニ差出シ郡長ニ於テハ全書式ニ準シ一郡ノ總計表ヲ製シ之レヲ戸長ヨリ差出シタル表一通ヲ添付シ全月盡日限リ當廳へ差出シ他ノ一通ハ其役所ニ備置シヘン



但前年ノ現在高ニ比較シ著シキ増減アルモノハ其理由ヲ副申スヘシ

第三十條 戶長ハ町村内人口一百以上群居連擡ノ地ニ於テ毎年十二月三十一日現在ノ人口戶數坪數等取調附錄第七號書式ニヨリ該表ニ通テ製シ翌年二月十日限ヨリ郡長ニ差出シ郡長ハ全月盡日限ヨリ一連書照ニ差出シ他ノ一通ハ其役所ニ備置シヘシ

但附錄第七號書式記載例第一項ニ該ル町村アルトキハ別ニ其連擡地ノ總計表ヲ調製同時書照ニ差出スヘシ尤他郡役所部内ニ跨ルモノハ此限ニテラス

第三十一條 戶長ハ宿舍ノ徵發ヲ受ケタルトキハ勿論其他行軍演習等ノ際休泊地トナルヘキ町村ヘハ直ニ各戶長見易キ場所ニ其坪數ヲ明瞭記載セル空圖ヲ揭示スヘシ但本文ノ場合ニ於テハ徵發令第十八條ノ徵發ノ得サル場所ヲモ明示スヘシ

第三十二條 郡長戶長ハ本則ニヨリ調製スル諸表中ニ掲載ナキ他ノ徵發物件ト雖トモ適宜ノ法ヲ以テ其負數ヲ取調表面ヲ製シ常ニ其役所役場ニ備置シヘシ

第三十三條 郡長戶長ハ徵發令第八條及徵發事務條例第十四條ニ從ヒ本則ニ規定シタル外尙第一條第二條ノ賦課ニ應スル詳細ナル便宜ノ方法ヲ豫定シ置クヘシ

但本文ノ方法ヲ定メタルトキハ戶長ハ郡長ヲ經郡長ハ直ニ當廳ヘ届出ヘシ

第三十四條 臨戰若クハ合圍ノ地ニ在リ或ハ平時ト雖モ時機切迫シ本則ニ據ルコト能ハサル場合ニ於テハ臨時機ノ處分ヲ以テ供給ノ速成ヲ專一ニスヘシ

但錯雜ヲ生シ他日不明瞭ノ事柄ナキ様務メテ注意スヘシ

附錄第一號書式

使役証

何那何(町)村

何 某

右何那何(町)村ヨリ何那何(町)村迄徵發物輸送ノ爲使役候也

何那何(町)村

年月日 戶長役場印

附錄第二號書式

賠償金計算書

一 品名 數量 第何號証票 金何圓

一 全 全 全 全

一 全 全 全 全

右何廉合計金何百何拾圓賠償トシテ御渡相成度候也

年 月 日

郡長戶長 姓

名印

附錄第三號書式

用紙美濃紙以下同 六號書式ヲ除ク

何那何地市場平均物價表

種 類	平均價	何 年	何 年	何 年	何 年	自何年 至何年
玄米	壹石	何	何	何	何	何年 三 何年
精米	壹石	何	何	何	何	

第六類 兵事 徵發事務















買入代價	何万何千何百圓	用	方	郵船	旅客船	石炭船
津運航港	何港ヨリ何々ヲ經テ何港マテ或ハ何港間			挽船	港内使用船等	
一晝夜費炭	何百何十斤	石炭貯量	何万何千斤			
一晝夜費油	何	升	一晝夜費脂	何	斤	
荷積器械ノ數及力	何	箇	一箇何噸			
蒸溜水機械一晝夜蒸溜量	何	噸				
運轉手定員	何	人	機關手定員	何	人	
水夫定員	何	人	火夫定員	何	人	
自餘乘組定員	事務係何人賄夫何人等	積荷ノ量	何百何十噸			
右取調候處相違無之候也						
年 月 日						
島根縣知事氏名殿						
何郡長氏 名印						
附録第六號書式 用紙美濃紙半葉						
明治何年	何月何日	物品現在表	何郡何町(村)戸長役場	(何郡何町)役場		
品目	米	何	石	全	上	計
		營業者所有ノ員數		人民所有ノ員數		合

第六類 ◎兵事 ○徵發事務

精	米	全	上	
鹽	全	上		
味噌	何	上		
醬油	何	上		
漬物	四斗樽入何	上		
梅干	全	上		
大麥	何	上		
小麥	全	上		
裸麥	全	上		
秣	何	上		
秣	何	上		
松薪	全	上		
堅薪	全	上		
炭	全	上		
石炭	何	上		
鹽	何	上		
糞	何	上		



記載例

一 物品ノ量數ハ徵發事務條例第二十條ニ定メタル最下限ヲ引去リ其餘ヲ掲ケヘン  
 但營業者所有ノ員數ハ其年十二月三十一日ヨリ前十日間ニ其府縣内ニ賣拂ヒタル數ヲ引去ルヘン

二 數町村ヲ合シ一役場ヲ置キ又ハ郡ヲ合シ一郡役所ヲ置クモノハ一町村又ハ一郡ト見做シ取扱フヘン

三 濱物梅干堅薪ノ説明ハ本則附録第三號書式記載例ニ同シ

附録第七號書式

人口壹百以上幅濶連擔地戶數人口坪數表

明治何年十二月三十一日調

郡	町	種	連擔地ノ長役場ノ所在地	戶數	人口坪數	起臥及宿舎ニ宛ツ		寺院	學校	庭園	倉庫	一日ノ食料ヲ支辨シ得ヘキ人馬ノ數
						必用ナル坪數	疊數					
郡	何町	何町	何町									
郡	何町	何町	何町									
郡	何村	何村	何村									
郡	何村	何村	何村									

記載例

一 連擔地ノ數町村ニ跨ルモノハ其一町村ニ於テハ人口一百以上ニ達セサルモ本表ニ掲翰シ其何地ト連擔

ナルヲ欄外ニ登記スヘシ

二 人馬食飼ノ定料ハ大概徵發事務條例第三十二條ニ據ルヘシ

三 戶數人口坪數等ハ各表ノ記載例ヲ參照スヘシ

●訓令第四十七號 明治二十年二月二十三日 郡役所 戶長役場

客年九訓令第二十九號徵發事務取扱概則第二十七條ヲ左ノ通及同則附録第五號書式ノ三ノ六ト改正シ同號ニ別紙書式ヲ增加ス

第二十七條 郡長ハ附録第五號一三三四五ノ書式ヨリ毎年十二月三十一日現在ヲ以テ船舶表及濱物表西洋形船舶器械製造修繕場表日本式西洋式鑄造場表及旋盤ニ乘以上裝置鐵工場表ヲ調製シ毎年二月五日限ニ當廳ニ差出スヘシ但郡内ニ於テ新ニ建造シ若シハ買入レタル深船アルトキハ全書式ノ六ヨリ濱物表ヲ調製シ其時々當廳ニ差出スヘシ

附録第五號書式 其三 (用紙美濃紙以下共)

西洋形船舶器械製造修繕場表

明治何年十二月三十一日調

何郡

持	所在地	主	創	業	年	月	何年何月	造								
								第一	第二	第三						
第一	何國何郡何(區)何町(村)何番地華(士)族(平民)何某							長サ	何尺	盤木ノ廣サ	何尺	水中深尾ヨリ	深サ	何尺	斜度	何度
第二	何國何郡何町(村)何番地(屋敷)何港(河)東(南)西(北)岸							全	全	全	全	全	全	全	全	全
第三								全	全	全	全	全	全	全	全	全

第六類 兵事 徵發事務







熔鐵機	種類	演(人力)
平常製造品	種類	何品
職工ノ數	何人	
右取調候處相違無之候也		
年 月 日		
島根縣知事氏名殿		
記 職 例		
一職工ノ數ハ場内最大事業ニ要スル一日ノ總數ヲ記スヘシ		
一熔鐵量ハ爐數ノ多少ニ拘ラス一回ニ熔解シ得ル量ヲ指シヘシ		
一本表ニハ一回ノ熔鐵量百貫目以下ノ鑄造場ハ之ヲ掲ケルヲ要セス		
附錄第五號書式 其五		
旋盤三蓋以上裝置鐵工場表		
明治何年十二月三十一日調		
持	主	何國何郡(區)何町(村)何番地(士)族(平民)何某
所在地	名	何國何郡何町(村)何番地(屋敷)
旋盤	長	何「ヒート」
旋盤	真	何「インテ」
器械種類	類	演(水車)風車(人力)

何郡長氏名印

何郡

馬	力	何馬力
職工ノ數	何人	
右取調候處相違無之候也		
年 月 日		
島根縣知事氏名殿		
記 職 例		
一職工ノ數ハ場内最大事業ニ要スル一日ノ總數ヲ記スヘシ		
一旋盤(軋轆)ノ如キモノノ真隔トハ旋軸ト盤面ノ間隔即チ其處ニ廻轉スル物体ノ半徑ナリ		
●訓令第二百四十四號 明治二十年十二月二十一日		
明治十九年九月訓令第二十九號徵發事務取扱概則左ノ通改正追加ス		
附錄第四號書式其一ノ記載例		
第一項中「驛傳取締所設置」ヲ「著明」ト改ム		
第三項中「土地」ニシテ驛傳取締所設置ノ「十三字ヲ除キ」場所ノ下ニ大抵島ノ割註ヲ挿入ス		
第四項中「且驛傳取締所設置」ヲ「スル」ト改ム		
第五項中「ト雖」驛傳取締所設置ナキ「ヲ」ニアラサル「ト改ム		
附錄第四號書式其二ノ記載例第一項ノ次ヘ左ノ項ヲ追加シ以下ノ項ヲ順次挿下シ		
二 玄米ハ陸米糴米ヲ除キタルモノ、ヨリ配入スヘキモノトス		
●訓令第二百十九號 明治二十二年十二月九日		
島 郡 郡役所 市役所		
戸長役場 町村役場		
明治十九年九月訓令第二十九號徵發事務取扱概則第三十一條ヲ左ノ通更正ス		

何郡長氏名印

何郡長氏名印

第六類 兵事 徵發事務



第三十一條 市長戸長町村長ハ宿舍ノ徵發ニ應スヘキ各戸ノ總數聞數ヲ左式ニ依リ戶外見易キ場所ニ掲出セ  
ルヲ異動アル時ハ訂正セシムヘシ

宿舍ノ徵發ニ應スヘキ間數	拾壹	壹間	木札
六疊	貳間	八疊	壹間
拾疊	壹間	、、、、	、、、、

訓令第二百十八號 明治二十三年十月十三日 島 島 郡役所 市役所  
戸長役場 町村役場

明治十九年九月訓令第二十九號徵發事務取扱概則中左ノ通改正削除ス  
第二十五條島司郡市長ハ徵發事務條例第二十一條第一項ノ徵發物件表二通及附録第四號二ノ書式ニ依リ三個  
年毎ニ物産收穫高表一通ヲ調製シ翌年二月盡日限當廳ニ提出スヘシ  
島司郡市長ハ附録第四號一ノ書式ニ依リ前年ニ係ル馬匹車輛屬具表一通ヲ調製シ毎年二月盡日限當廳ニ送  
出スヘシ  
本條諸表前年表ニ比較シ著シキ増減アルモノハ其理由ヲ附申スヘシ  
第二十六條削除  
第二十七條中「船舶表」ノ三字ヲ削リ買入レタルノ下ニ「登簿頭數百圓以上」ノ九字ヲ加フ  
第二十八條中「船舶」ノ二字ヲ削ル  
附録第四號書式一二及全第五號書式一二六別紙ノ通改正ス  
第四號書式 其一

島 根 縣 明治何年十二月三十一日調

何國何郡(市)		何郡(市)何町(村)		市町村名		牛		馬		車		其他	
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

第六類 兵事 徵發事務







計

右取調候處相違無之候也

年 月 日

島根縣知事氏名殿

記載例

- 一 本表ハ一郡一市各別ニ一表ニ製スヘシ
- 一 市ニ在テハ第二段町村ノ欄ヲ省クヘシ
- 一 本表物産ハ其年中ニ收穫セン總數ヲ記載スヘシ
- 一 醬油ハ其年中國稅徵收ノ檢査ヲ爲シタル高ヲ記載スヘシ
- 一 漬物ハ澤庵漬トシ梅干ハ梅漬モ包含ス但四斗入ヲ以テ一樽トス
- 一 物品ノ計數ハ四捨五入ノ法ヲ用ヒ石貫樽ニ止ムヘシ

第五號書式 其一

登簿噸數百噸未満漁船表

明治何年十二月三十一日調 何郡(市)

免狀番號	船名	用方	運航港津	所屬會社及船主
一〇二五	何丸	郵船	何港ヨリ何港ヲ經テ何港迄	何國何郡何町(村)何社
一二五六	何丸	旅客船	何港ヨリ何港迄	何國何市何某
	何丸	港内使用船	何港	何國何郡何町(村)何社

右取調候處相違無之候也

年 月 日

島根縣知事氏名殿

第五號書式 其二

島司郡市長氏名印

登簿噸數百噸以上漁船表

明治何年十二月三十一日調 何郡(市)

船名	免狀番號	定 額	船内構造變更ノ箇所	一晝夜ノ油費	全 速 力	船名	何	所屬會社或ハ船主	何國何郡市(何町(村)何番屋敷)
	何	何 港 或 ハ 何 港	何甲板ニ上中等客室何箇所ヲ設ケ或ハ之ヲ除キ艙庫又ハ何々ニ改造ス	何 升	何 哩	何	何	何	何々社或ハ何某
				何 合	何	何	何	何	何
				何 哩	何	何	何	何	何

右取調候處相違無之候也

年 月 日

島根縣知事氏名殿

第五號書式 其六

島司郡市長氏名印

漁 船 表

船 名

何 丸

所屬會社或ハ船主

何國何郡何町(村)何番屋敷

第六類 ○兵事 ○徵發事務



免狀番號	何番	定航地方事務振所	何港何郡何市何村何番屋敷 何々社或ハ何某
登簿願數	何願二五	買入代價	何
製造年月	何年何月	航路定限	外國、内國、近海或ハ平水 航船
検査年月	何年何月	検査證書有効期限	何箇月
用方	郵船旅客貨物或ハ挽船	運航港津	何港ヨリ何々ヲ經テ何港迄 或ハ何港何港間
定繫港	何港或ハ何灣	石炭貯量	何斤
一晝夜ノ費炭	何斤	一晝夜ノ油費	何升何台
一晝夜ノ脂費	何斤	蒸溜水機一晝夜蒸溜量	何升何台
船長及運轉手定員	何人	機關手定員	何人
事務係定員	何人	水夫定員	何人
火夫定員	何人	自餘乗組定員	何人

右取調候處相違無之候也  
年 月 日

島根縣知事氏名 印

訓令第二百三十四號 明治二十三年十一月二十日

島司郡市長氏 名 印

島 郡役所 市役所

明治十九年九月訓令第二十九號徵發事務取扱概則中別紙ノ通追加改正ス  
第二十六條 徵發事務條例附錄第一二號ノ一表ハ左ノ諸項ニ依リ調製スヘシ  
一家屋敷内戸數ハ現在軒數ヲ掲ケヘキモノニシテ其軒數トハ官廳寺院學校製造所水車場ヲ除クノ外人ノ現在住居スルト否トニ拘ハラズ市町村内ニ現在スル家屋ノ棟數ヲ云フ又家屋ノ全部若クハ幾部ヲ官署學校市役所戸長役場町村役場等ニ使用スルモノモ亦算入スヘキモノトス  
同總坪數ハ家屋ノ總坪數ヲ記入ス又家屋ノ全部若クハ幾部ヲ官署學校市役所戸長役場町村役場等ニ使用スルモノモ亦算入スヘキモノトス  
同宿舍用坪數ハ官署學校市役所戸長役場町村役場等ニ使用スルモノヲ除キ計算スヘキモノトス  
二官廳衙署ハ官署及市役所戸長役場町村役場等ノ箇數ヲ記入スヘキモノトス  
三寺院講内軒數ハ寺院内ニ堂座幾棟數アルモ之ヲ分別セシ一寺院ヲ一軒トシ計算スヘキモノトス  
同總坪數ハ各寺院ノ總坪數ヲ合算ス又寺院ノ全部若クハ幾部ヲ官署學校市役所戸長役場町村役場等ニ使用スルモノモ亦算入スヘキモノトス  
同宿舍用坪數ハ官署學校市役所戸長役場町村役場等ニ使用スルモノヲ除キ計算スヘキモノトス  
四學校講内軒數ハ學校内ニ教場寄宿舎等幾棟アルモ之ヲ分別セシ一學校ヲ一軒トシ計算スヘキモノトス  
同坪數ハ各學校ノ總坪數ヲ合算スヘキモノトス  
五製造所ハ公立私立ノ別ナク又製造物品ノ種類如何ニ拘ハラズ總テ掲ケヘキモノトス但官立ニ係ルモノハ官解ノ箇數ニ記入スヘキモノトス  
六水車場ハ水車及蒸氣器械ノ別ナシ一日一石以上ヲ搗春スル箇數ヲ記入スヘキモノトス  
七病院講内軒數ハ病院内ニ病室幾棟數アルモ之ヲ分別セシ一病院ヲ一軒トシ計算スヘキモノトス  
八日本形船舶講内艘數ハ日本形船舶五十石未満及倉庫船水田耕作船及水災除簡船ヲ算入シ汽船

第六類 ○兵事 ○徵發事務



ニ非ナル西洋形船舶二十噸以上ハ五十石以上ノ書ニ二十噸未満ハ輕小艇ノ書ニ朱書列記スヘキモノト  
 ス但游船渡船用船ハ表上スルコト及ハス  
 九醫師及職工ノ順序ハ表式ノ順序ヨリ從ヒ記入ス職工ハ他ノ職工ヲ混入セス表式ニ記載シタル職工ニ限リ肥  
 入スヘキモノトス但一名ニシテ兩業ヲ兼スルモノモ管ヘハ木挽職ニテ抽職ヲ兼スルモノハ大挽職何名内何  
 職兼ト記入シ抽職何名内ノ算入セザルモノトス又表式職工中其郡市ヨリナキモノハ其ノキ旨ヲ記スル  
 及ハス

十本表ハ美濃紙ヲ用フルモノトス

附錄第四號書式其一表記載例第六項乃至第八項左ノ通改正スルハ下ニ列記ス

- 一 乘馬ハ年齡四歲以上コトヲ若干日ノ使用ニ堪ヘ現在乘馬ニ役スルモノヲ記載ス又付テ乘馬ニ役セシモノ  
 ハ現今駕馬馬籍馬ニ役スルモノト雖モ乘馬ノ書ニ記載スヘシ
  - 一 駕馬ハ年齡四歲以上身幹四尺五寸以上コトヲ若干日ノ駕馭ニ堪ヘ現在駕馬ニ役スルモノヲ記載ス又付テ  
 駕馬ニ役セシモノハ現今駕馬馬籍馬ニ役スルモノト雖モ駕馬ノ書ニ記載スヘシ
  - 一 駄馬ハ明治二十三年十月縣令第六十九號徵發馬籍規則ノ合格證書ヲ有シ現在駄馬ニ役スルモノヲ記載ス又  
 舊テ駄馬ニ役セシモノハ現今耕馬ニ役スルモノト雖モ駄馬ノ書ニ記載スヘシ
- 附錄第四號書式其二表第二行島根縣ノ三字ヲ削リ記載例第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
- 一 玄米ハ陸米糯米トモ算入スヘシ
- 訓令第二百四十七號 明治二十三年十二月十一日

島 郡 郡役所 市役所  
 戶長役場 町村役場  
 明治十九年九月訓令第二十九號徵發事務取扱概則第二十六條第一項中水車場ノ下ニ倉庫庭病院ノ五字ヲ追加ス

● 島根縣訓令第四十號 明治二十六年四月六日

島 郡 郡役所 市役所

戶長役場 町村役場  
 明治十九年九月本縣訓令第二十九號徵發事務取扱概則第二十一條第一項ニ左ノ但書ヲ追加ス  
 但本條ノ輸送費ハ市制町村制ヲ施行セシ市町村ニ在テハ各其市會町村會ノ議定ニ付スヘシ

● 島根縣訓令第六十六號 明治二十六年十月九日

島 郡 郡役所 市役所

戶長役場 町村役場  
 明治十九年九月本縣訓令第二十九號徵發事務取扱概則第二十五條第二項中「前年ニ係ル」ヲ「三箇年毎ニ」毎年  
 ヲ「翌年」ト改ム

● 島根縣訓令第九十九號 明治二十六年十月十二日

島 郡 郡役所 市役所

明治二十六年十月島根縣訓令第六十六號ヲ以テ徵發事務取扱概則第二十五條第二項中改正ニ依リ三年毎ニ差出ス  
 物件表ハ明治二十七年十二月調ヲ以テ第一回トシ同二十九年十二月調ヲ以テ第二回トシ自後之ニ準スル義ト  
 心得ヘシ

● 縣令第六十九號 明治廿二年十月四日

徵發馬籍規則左ノ通定ム

- 徵發馬籍規則
- 第一條 本則ハ徵發令第十二條第二項ノ馬匹應徵準備ノ爲メニ設ク
  - 第二條 駄馬及年齡四歲以上ノ乘馬駕馬耕馬ヲ飼養スル者ハ自己ノ所有ナルト否トヲ問ハズ第一書式ニ依リ  
 飼養ノ日ヨリ十日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ  
 但四歲未満ノ馬匹本條ノ年齡ニ達スルトキ亦本條ニ依ル
  - 第三條 當廳ニ於テ前條ノ届シ受理シタルトキハ其合格不合格ヲ判定シ合格ノモノハ當廳ノ徵發馬籍簿ニ登  
 録シ島司郡市長戶長町村長ヲ經テ第二書式ノ合格證書ヲ飼養者ニ付與ス  
 馬匹ノ徵發ニ應スルトキハ必ス前項ノ合格證書ヲ携帯スヘキモノトス

● 第六號 ©兵部 ©徵發事務



第四條 島國郡市役所戸長役場町村役場ニ於テハ前條ノ証書ニ依リ第三書式ノ徵發馬籍簿ヲ調製スヘシ

第五條 合格馬匹ノ飼養者若クハ持主ノ異動及轉居同市町村大改姓名並馬匹使用ノ名稱ヲ變更シ價格ニ異動ヲ生シ惡癖ヲ發シ又ハ盜難癡疾ニ罹リ又ハ逸失斃死シ又ハ乘馬本分ノ者又ハ乘馬飼養令ニ依リ飼養スル者

第六條 當廳ニ於テ前條ノ届ヲ受理シタルトキ徵發馬籍簿ノ訂正ヲ要スヘキモノハ該簿及合格証書ヲ訂正シ

第七條 市長戸長町村長ハ便宜ノ方法ヲ以テ毎年一月七月ノ兩度馬匹ヲ徵發馬籍簿ニ照較シ戸長町村長ハ島

第八條 當廳及島廳主任官又ハ郡吏員ヲシテ馬匹ヲ檢閲セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ市町村吏員之

第九條 本則ニ係ル届ハ島司郡市長戸長町村長ヲ經テ差出スヘシ

第十條 從前本則第二條ニ該ル馬匹ヲ飼養スル者ハ明治二十三年十月廿五日限全條ノ届出ヲナスヘシ

第十一條 乘馬本分ノ者及乘馬飼養令ニ依リ飼養スル者ハ本則ニ依ル限コトナス

第十二條 馬匹飼養届

一 此乘(駄)(駕)(耕)馬

產地

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

何印ハ朱書

何國何郡何村

●第六類 ○兵事 ○徵發事務

種類 年齡 身幹 毛色 使役 價格 氣質 疾病 持主

△內國種又ハ何々  
△何歳但何年何月生  
△何尺何寸  
△何

△何日間ノ使用ニ堪フ  
△何拾何圓  
△柔順又ハ猛悍等又噛蹴其他惡癖アルモノハ此ニ記ス  
△何々失明其他顯然ナル癡疾等ヲ記ス  
△何郡市町村何某(持主自ラ飼養スルモノハ此項ヲ省ク)  
(數頭飼養ノ者ハ前項連記スヘシ)

右飼養候間此段及御届候也

年 月 日

島根縣知事宛

第二書式

徵發馬籍簿ト割印

曲尺五寸五歩

△印ハ朱書

都市町村番屋敷

何

某

持主ト飼養者ト異ル者ハ持主ノ次ニ飼養者ノ一項ヲ加フ

面 表

割印一 杜乘(駕)(駄)(耕)馬

持主 都市町村 何 某

飼養者 都市町村 何 某

右徵發馬匹合格ヲ證ス

年月日

島根縣 印

馬色花紋



裏								面									
產	種	年	身	毛	使	價	氣	疾	產	種	年	身	毛	使	價	氣	疾
地	類	齡	幹	色	役	格	質	病	地	類	齡	幹	色	役	格	質	病

第三書式 (表紙) 用紙美濃紙

# 徵發馬籍簿

島 郡市役所 戶長役場 町村役場

牝乘(駕)(馱)(耕)馬

飼養者住所氏名  
持主全上

產	種	年	身	毛	使	價	氣	疾	質
地	類	齡	幹	色	役	格	質	病	價

第六類 兵事 徵發事務

馬業者一日金何程全上半額  
馬業者金何何程











第四章 旅費並ニ手當

第十四條 徵集ニ際シ徵集地ニ往復シ若クハ解備ニ際シ解備地ニ往復スル人馬ニハ旅費（人馬ノ宿村地トシテ一里ニ付馬ハ金貳錢五厘人ハ參錢五厘ヲ支給ス

但シ本文ノ里程ヲ算スルニハ郡市ヨリ徵集地若クハ解備地ニ通スル最大ナル道路ニ就キ徵發令第四條ノ徵發區境界ヨリ起算シ其端丁數ハ總テ切捨ツ

第十五條 借上馬匹ハ受領當日ヨリ解備當日迄第九條ノ賃價表ニ據リ賃價ヲ給ス

第十六條 馬匹持主徵集地若クハ解備地ニ到着セシ上其當日馬匹ノ受渡ヲ終ルコト能ハサルモノアルトキハ徵發馬匹委員ニ於テ人馬ニ一泊ノ命ス然ルトキ人ハ手當トシテ金拾五錢ヲ支給シ馬匹ニハ糶糠ヲ官給ス

第五章 徵集並ニ解備手續

第十七條 師團長ハ充員召集ト同時ニ電報ヲ以テ各縣知事ニ馬匹徵發ノ通知ヲ爲ス（第四様式）

第十八條 縣知事ハ郡市長ニ向テ前條ノ通知ヲ爲ス

第十九條 馬匹持主徵發令狀ヲ受領セハ旅費支給所ニ就テ第十四條ノ旅費ヲ受領シ徵發令狀ヲ携ヘテ居村ヲ發シ少クモ一日十里詰ヲ以テ馬匹ヲ徵集地ニ牽付テ到着ノ上ハ馬匹受領所ニ到リ馬匹ヲ徵發馬匹委員ノ検査ニ供スヘシ

第二十條 馬持主ハ自己ノ馬匹徵發馬匹委員ノ検査ニ合格シ借上ケトナリントキハ徵發令狀ニ「借上」ノ朱印ヲ受ケ之ニ買上豫定價額ト番號ノ記入並ニ主任委員ノ檢印（第五様式）ヲ受ケ第十四條ノ旅費ヲ受領シテ歸郷スヘシ

第二十一條 借上馬匹ヲ解備スル時師團長ハ豫メ解備ノ地名ト其時日ヲ縣知事ニ通知ス

第二十二條 縣知事前條ノ通知ニ接スレハ郡市町村長ヲシテ馬匹持主ヲ解備地ニ差出スノ處置ヲナシム

第二十三條 馬匹持主解備ノ通知ニ接セハ旅費支給所ニ就テ第十四條ノ旅費ヲ受領シ指定ノ時日ニ解備地ニ到リ徵發馬匹委員ヨリ自己ノ馬匹及ビ第十五條ノ賃價第十四條ノ歸解旅費ヲ受領スヘシ此際徵發令狀ヲ委員ニ返納スヘシ

第六章 徵發馬匹委員

第二十四條 各徵集地ニ於テ徵發馬匹ノ取扱ヲ爲サンムル爲メ師團長步兵第十旅團長及ビ步兵第十二聯隊長ハ充員召集ト同時ニ徵發馬匹委員ヲ任命ス

第二十五條 委員ノ任務左ノ如シ

一 馬匹受領所ニ到着スル馬匹ヲ検査シ合格不合格ヲ決定シ其處分ヲ爲ス事

二 借上馬匹ノ賃價買上馬匹ノ代價並ニ旅費手當金ノ支拂ヲ爲ス事

三 馬匹ノ買上價格ヲ評定シ要スレハ徵發事務條例第五十五條以下ノ法ニ據リ評價委員ヲ編成スル事

四 馬匹ノ体格性質ヲ審接シ用役ヲ類別シ適當ニ之ヲ各部團隊ニ分配スル事

五 徵用濟ニ於テ借上馬匹ヲ解備シ買上馬匹ノ賣却ヲ爲ス事

第二十六條 委員ノ細務ハ戰時徵發馬匹取扱手續ニ依リ別ニ規定ス

第一様式 (用紙美濃紙)

(△印ハ朱書)























第二様式

(用紙美濃紙)

某縣徵發馬匹原課員數並ニ旅費概算表

郡市名	馬匹			里程 師團司令部迄	馬匹總數ニ對スル旅費概算
	乘馬	駄馬	馬計		
何市					
何郡					
合計					

第三様式

表

徵發令狀

何縣何市何町大字何々

持主 何 某

乘(駄)馬壹頭

右徵用ヲ命ス

明治何年何月何日

第五師團司令部 印

同様式

里程 徵集地 受領所	旅費 師團司令部ニ到ル里程(端丁數ハ切捨)	旅費	
		人(一里ニ付金參錢五厘ノ割)	馬(一里ニ付金貳錢五厘ノ割)
廣島何村	何十里	金何拾錢	金何圓何拾錢

前書之通金員相渡候也

明治何年何月何日

旅費支給吏 何 某 印

第四様式

# 馬匹徵集ス

馬匹持主旅費ヲ受領セハ此令狀ヲ携ヘ即時發程一日十里詰ヲ以テ旅行シ徵集地ノ馬匹受領所ニ到リ徵發馬匹委員ニ馬匹ト此令狀ヲ差出スヘ

(師團長ヨリ各縣知事ヘ電報案)

●第六類 ○兵事 ○徵發事務







二馬匹ハ年齢五歳以上十六歳未満ノモノニシテ左ノ項ニ適當ノ者ヲ合格トシ其他ノ者ヲ不合格トシテ調査スヘシ

三乘馬ハ身幹四尺五寸(曲尺)以上ニシテ現在乘馬ニ役スルモノ又ハ替テ乘馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ  
 四駄馬ハ身幹四尺三寸以上ニシテ現在駄馬ニ役スルモノ又ハ替テ駄馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ  
 但現在耕馬ニ役スルモノ又ハ替テ耕馬ニ役セシモノハ本項ノ駄馬ニ算入スヘシ  
 五駕馬ハ身幹四尺五寸以上ニシテ現在駕馬ニ役スルモノ又ハ替テ駕馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ

●島根縣訓令第百十七號 明治廿八年十二月十三日  
 戶長役場 町村役場  
 郡役所 市役所

徵發令第十二條第二項ノ乘馬駕馬駄馬ノ員數並馬匹ノ賃價別紙表式ニ依リ取調戶長町村長ハ毎年一月二十日限島司郡長ニ差山シ島司郡市長ハ毎年一月三十一日限島縣ニ差出スヘシ  
 但明治二十一年一月本縣訓令第二號ハ廢止ス

明治何年現在馬匹員數表

島根郡市役所戶長町村役場

郡市町村別	合		不		格
	五歳以上十六歳未満	五歳未満	十六歳以上	定尺未満	
乘馬	牝	牡	牝	牡	
駕馬	牝	牡	牝	牡	
駄馬	牝	牡	牝	牡	
乘馬	牝	牡	牝	牡	
駕馬	牝	牡	牝	牡	
駄馬	牝	牡	牝	牡	
乘馬	牝	牡	牝	牡	
駕馬	牝	牡	牝	牡	
駄馬	牝	牡	牝	牡	
乘馬	牝	牡	牝	牡	
駕馬	牝	牡	牝	牡	
駄馬	牝	牡	牝	牡	

貨價ノ類別	一		一		貨價
	日	里	日	里	
乘馬					
駕馬					
駄馬					
採業者乘馬					
駕馬					
駄馬					
採業者					

並宿賃 泊賃 食料

一 徵發令第十四條ノ馬匹ハ調査ヲ要セス

二 馬匹ハ年齢五歳以上十六歳未満(馬匹ノ年齢ハ其年ヲ以テ一歳ニ算ス例ヘハ明治廿五年)ノモノニシテ左ノ項ニ適當ノ者ヲ合格トシ其他ノ者ヲ不合格トシテ調査スヘシ

三 乘馬ハ身幹四尺五寸以上ニシテ現在乘馬ニ役スルモノ又ハ替テ乘馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ  
 四 駄馬ハ身幹四尺三寸以上ニシテ現在駄馬ニ役スルモノ又ハ替テ駄馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ  
 但現在耕馬ニ役スルモノ又ハ替テ耕馬ニ役セシ者ハ本項ノ駄馬ニ算入スヘシ

五 駕馬ハ身幹四尺五寸以上ニシテ現在駕馬ニ役スルモノ又ハ替テ駕馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ

島根郡市役所戶長町村役場



一 一日ノ行程ハ陸路十里トシ賃價ヲ定ムヘシ  
一 島司郡長ニ於テ調製スル賃價表ノ賃價及宿泊料並食料ハ其管内各所ノ平均價格ヲ掲載スヘシ

### 豫備後備歸休兵

●訓令第八十八號 明治廿一年六月二日 櫻岐島廳 郡役所 戶長役場  
●訓令第七十號 明治廿三年三月廿五日 島 郡役所 市役所  
戶長役場 町村役場

第廿四年訓令  
第百六十號  
第百六十七號  
第百六十八號  
第百六十九號  
第百七十號  
第百七十一號  
第百七十二號  
第百七十三號  
第百七十四號  
第百七十五號  
第百七十六號  
第百七十七號  
第百七十八號  
第百七十九號  
第百八十號

陸軍豫備後備下士兵卒及歸休兵事務取扱心得其筋ハ協議ノ上別冊ノ通定  
但明治廿二年十月訓令第二百一號ハ廢止ス  
(別冊)

### 陸軍豫備後備下士兵卒及歸休兵事務取扱心得

- 第一條 島司郡市長戶長町村長ハ適宜ノ方法ヲ設ケ豫備後備歸休兵卒ノ在營中養成セシ志氣ヲ益發進振起セシメ諸規則等ヲ忘却セシメサル様厚ク注意シ且軍人ニ關スル令違等ハ之ヲ熟知ヒシムヘシ
- 第二條 島司郡市長戶長町村長ハ豫備後備歸休兵卒ノ品行方正家業勉勵ノ者ハ益之ヲ獎勵シ不良ノ行爲アリテ軍人ノ体面ヲ汚ス等ノ事アルモノハ懲罰論ヲ加フヘシ
- 第三條 豫備後備下士兵卒及歸休兵ノ願届書ハ市長戶長町村長ニ於テ詳密調査シ速ニ送達ノ手續ヲナスヘシ
- 第四條 陸軍豫備後備下士兵卒服役條例及陸軍歸休兵條例ニ依リ市長戶長町村長ヲ經由スル願届書ニハ市長戶長町村長ニ於テ其前行ニ加印スヘシ
- 第五條 豫備後備下士兵卒及歸休兵ノ届ハ期限ヲ誤ラサハ様市長戶長町村長ニ於テ厚ク注意スヘシ

第六條 豫備後備下士兵卒及歸休兵ニシテ他郡市町村(縣共)ニ送籍ノ時ハ送籍狀ニ其官名若シハ年度兵種番號等ヲ簡短ニ付箋ニ受籍地市長(東京府大坂ノ三市ニ在リテハ區長)第二項亦合シ 戶長町村長ヲシテ其豫備後備下士兵卒若シハ歸休兵ニシテ知得スルニ便セシムヘシ

前項ノ異動ニシテ島司郡市長ノ所轄外ニ係ルモノハ島司郡市長ハ之ヲ送籍先ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

第七條 陸軍豫備後備下士兵卒服役條例第十條及陸軍歸休兵條例第九條ノ兵籍上ノ異動トハ概テ左ノ諸項トス

- 家名相續分家絶家廢家再興轉住
- 養子入籍復歸
- 戶主異動
- 身分變換
- 妻離婚死亡
- 男女子出生死亡送籍
- 復姓改名
- 第八條 罰金又ハ拘留若シハ科料ノ刑ハ届出テシムルニ及ハスト雖モ監視ノ刑ハ届出テシムヘキモノトス
- 第九條 第七條ノ異動其他軍隊手帳ノ訂正若シハ記入ヲ要スヘキ届出ハ必ス該手帳ヲ添付セシムヘシ
- 第十條 豫備後備下士兵卒及歸休兵軍隊手帳ヲ損傷遺失シ若シハ水火盜難ニ罹リタルトキハ其事由ヲ詳記シ監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ請求セシムヘシ
- 第十一條 豫備後備下士兵卒ノ名簿(現役兵若シハ中絶兵若シハ其ノ事項共)ハ島司郡市長ニ於テ監視區長ト往復シ常ニ差送テカクシテ一年一回以上必ス監視區長ノ名簿ニ照較スヘシ但島廳郡役所ト戶長役場町村役場トノ間ニアリテハ陸軍召集事務取扱細則第四十九條照較ノ外可成數次ノ照較ヲ常ニ誤脱ナカラシムヘシ
- 第十二條 豫備後備下士兵卒及歸休兵ノ願届ハ別紙書式ニ依ラシムヘシ

●徵兵事務 ●兵事 ●豫備後備歸休兵



第十三條 前條ノ願届ハ渾テ一通トシ半紙封紙ヲ用キサスヘシ  
第十四條 豫備後備下士兵卒ノ結婚願届ハ監視區長ヲ經由スルモノトス  
歸休兵ハ結婚ヲ許サレサルモノトス

第十五條 市長日長町村長ハ豫備後備下士兵卒及歸休兵ヲシテ左式ノ標札ヲ本人戶外ヘ掲出セムヘシ但歸  
休兵ニシテ豫備役ニ入リ豫備役ニシテ後備役ニ入ル者又ハ姓名等ノ異動ハ直チニ訂正セムヘシ  
曲尺八寸

近衛(師團)豫備(後備)  
陸軍何兵曹長何等(軍曹) 氏 名

近衛(師團)豫備役(後備兵役)(歸休兵)  
陸軍何兵何等(卒) 氏 名  
位階勳等  
官名若シハ  
等級ト姓名  
ノ間ニ加記  
ス

(陸軍豫備後備下士兵卒服役條例第八條陸軍歸休兵條例第七條第一項)以下豫備何條歸何條ト稱ス  
某儀何年月何日現役満期相成候ニ付全何年月何日何地出發全何日歸郷候間此段及御届候也  
歸郷 郷 届

年 月 日  
島根縣郡市町村大字番屋敷  
師團(近衛)豫備(役)(歸休兵)  
官(年度兵種番號何等) 氏 名 印  
松江大隊區何監視區長氏名殿  
(豫第八條歸第七條第二項)  
滯在(寄留)届

某儀何年月何日現役満期相成候處何用ニ付來ル何年月何日迄何地ニ滯在(寄留)致候尤召集ノ命アルトキ  
通報スヘキモノハ左ノ通ニ有之候間全人連署此段及御届候也

年 月 日  
島根縣郡市町村大字番屋敷  
師團(近衛)豫備(役)(歸休兵)  
官(年度兵種番號何等) 氏 名 印  
全上  
通報人 氏 名 印

松江大隊區何監視區長氏名殿  
(豫第九條歸第八條)  
傷 痕(疾病)届

某儀何年月何日山林樵伐ノ際或ハ何々ニテ何部ヲ打撲「折斷」何々ノ傷痕ヲ受ケ(何年月何日)何病  
ニ罹リ「種々治療相加候得共治癒不致到底兵役ニ堪候間別紙醫師病況書相添此段及御届候也

年 月 日  
島根縣郡市町村大字番屋敷  
師團(近衛)豫備(役)(後備兵役)(歸休兵)  
官(年度兵種番號何等) 氏 名 印  
松江大隊區何監視區長氏名殿  
病 况 書  
郡市町村大字 氏 名

稟賦強健管テ重病ニ罹リシコトナシ唯何年頃ヨリ春秋ノ際屢々諸關節ニ疼痛腫起ヲ發スルコトアリ毎  
二三週日ニシテ消散セリト然ルニ何年月何日何方旅行ノ際驟雨ニ遇ヒ全身大ニ冷濕ヲ被リ同月何日ニ至  
リ全身違和四肢倦怠頭痛ヲ覺ヘ次テ惡寒戰慄ヲ發セリ同日午後之ヲ診スルニ体温三十九度脈搏百至舌上白苔  
ヲ被リ煩渴消スヘカラス諸關節殊ニ右膝關節ノ腫起疼痛甚シク爲メニ起立歩行スル能ハス尿ハ暗赤也

●徵兵事務 ○兵事 ○豫備後備歸休兵



シテ靜定スレハ瓦紅色ノ沉渣ヲ生シ大便ハ粘結セリ依テ關節急性復發候麻質斯ト診定シ直ニ撒里失爾散ヲ薦  
 留母何瓦爾誤ヲ内服セシメ安靜温保ヲ命セシ一週日ヲ經テ諸關節ノ腫痛ハ大ニ緩解セシメ特ニ膝關節ハ諸  
 症依然トシテ退カス体温猶二十八度五六ノ間ニ留マルヲ以テ患部ニ氷捲法及石炭酸水捲法ヲ行ヒ撒里失爾散  
 那篤留母何瓦爾誤ヲ一日間ニ分服セシメ之ヲ持長スルコト二週日ニシテ炎症大ニ消退シ体温何度ニ降ル然レ  
 ニ何月何日上固ノ際誤テ躓仆シ右膝打撞シ爲メニ關節ノ炎症再ヒ増劇シ体温四十度腹痛百二十至患部ノ腫  
 痛甚シク夜間呻吟眠ヲ得ス依テ解熱消炎ノ方ヲ處セシカ何月何日ニ至リテ患部ニ波動ヲ觸知ス因テ探膿針ニ  
 テ一分ノ液ヲ採リテ檢ハルニ果シテ膿汁ナリ故ニ關節急性化膿炎ニ轉シタルモノト診定シ防腐法ヲ嚴守シ切  
 開シテ膿ヲ泄シ石炭酸水ニテ洗滌シ排膿管ヲ挿入シテ防腐細帶ヲ施シ兼ニ持續展伸法ヲ行ヒシカ爾後疼痛漸  
 ク去リ体温亦下降シ食慾再ヒ振フト雖ニ尙ホ時節ノ強剛ヲ遣ヌヲ以テ按摩法及他動的運動ヲ試行セシカ遂  
 ニ輕度ノ彎曲ハ全ク治癒ニ至ラサルモノ(急速治癒スルニ至ラサルモ猶何々ノ療法ヲ施セハ或ハ治癒スルニ  
 至ルヘク)ト診定候也

那市町村大字番屋敷

主治醫

氏

名印

(全)

(相談醫

氏

名印)

(豫第十條歸第九條)

兵籍上異動届

某儀何年何月何日何縣何國何郡(市)何町(村)「大字」何番地族何其養子ト相成(父某誤認「死亡」ニ付其跡ヲ繼  
 キ戶主ト相成)「何國何郡(市)町」何村「何番屋敷」ヨリ「轉住」(何男女)「出生某ト名ク」死亡」(妻某離婚  
 「死亡」候間此段及御届候也

島根縣那市町村大字番屋敷 妻子轉住等ハ前姓 或住ヲ記ス

年 月 日

松江大隊區何監視區長氏名殿

(豫第十條歸第十條)

旅行(寄留)届

某儀何用ニ付何月何日ヨリ日數何日何府縣何國何郡(市)何町(村)「大字」何番地何某方ニ罷越(寄留)致候尤召  
 集ノ命アルトキ通報スヘキモノハ左ノ通ニ有之候間全人連署此段及御届候也

島根縣那市町村大字番屋敷

師團(近衛)豫備(役)後備(兵役)(歸休兵)

官(年度兵種番號何等)氏

名印

全上

通報人

氏

名印

松江大隊區何監視區長氏名殿

(豫第十條歸第十條世世)

歸郷届

某儀何用ニ付何年何月何日ヨリ何府縣何國何郡(市)何町(村)「大字」何番地何某方ニ旅行(寄留)シ處何月何日  
 歸郷候間此段及御届候也

島根縣那市町村大字番屋敷

師團(近衛)豫備(役)後備(兵役)(歸休兵)

官(年度兵種番號何等)氏

名印

松江大隊區何監視區長氏名殿

豫第十條歸第十條



陸軍豫備後備下士兵卒服役條例第八條第二項但書及陸軍歸休兵條例第七條第二項但書ノ届モ此例ニ做フ  
(豫第十二條)

就職 届

某儀何年何月何日何縣何國何郡市町村長(助役)(收入役)(島根縣會「何市町村會」職員)ト相成候間此段及御届候也

島根縣郡市町村大字番屋敷

師團(近衛)豫備(役)(後備)兵役( )

官(年度兵種番號何等) 氏 名 印

年 月 日

松江大隊區何監視區長氏名殿

退職退任ノ届モ此例ニ做フ

(豫第十三條歸第十二條)

死亡(失踪)届

島根縣郡市町村大字番屋敷

師團(近衛)豫備(役)(後備)兵役( )

官(年度兵種番號何等) 氏 名

右ノ者何年何月何日死亡(失踪)候間此段及御届候也

右親族

氏

名 印

年 月 日

松江大隊區何監視區長氏名殿

失踪者歸郷及踪跡知得ノ届モ此例ニ做フ

親族ナキ者ニ在リテハ市長戸長町村長ヨリ通報スヘシ

(豫第十四條歸第十三條)

處 刑 届

島根縣郡市町村大字番屋敷

師團(近衛)豫備(役)(後備)兵役( )

官(年度兵種番號何等) 氏 名

右ノ者何罪ニヨリ何年何月何日何裁判所ニ於テ重禁錮何年監視何月ニ處センレ何月何日了知致候間別紙宜書(刑名通知書)(已決犯罪表)寫相添此段及御届候也

右親族

氏

名 印

年 月 日

松江大隊區何監視區長氏名殿

親族ナキ者ニ在リテハ市長戸長町村長ヨリ通報スヘシ

(陸軍武官結婚條例以下單ニ結婚條例ト稱ス)

結 婚 届

府縣國郡市町村大字番屋敷

族 屬 兼

何某何女(博)(株)

某

年 月 日 日生

某儀今般熟談ノ上 (右ニ記載ノ者ト結婚致度 (右ニ記載ノ者ト結婚向家へ書子入籍致度 依テ別紙身元証書相添此段相願候也 (右ニ記載ノ者ニ入夫致度

島根縣郡市町村大字番屋敷

●徵兵事務○兵事 ○豫備後備歸休兵



年月日

松江大隊區司令官氏名殿

(結婚條例)

身元證書

師團(近衛)後備(役)(後備兵役)

官(年度兵種番號何等)氏

名印

府縣郡市町村大字番屋敷

族職業

何某何女(姉)(妹)

年月日生

市長戶長町村長

右ハ行狀端正ノ者ニ有之候間此段保証致候也

年月日

婚姻届

府縣郡市町村大字番屋敷

族職業

何某何女(姉)(妹)

某儀何年何月何日願濟ニテ何年何月何日右ノ者ト結婚相整右ノ者ハ入夫致(右ノ者)養子ニ相成(候間此

段及御届候也

年月日

松江大隊區司令官氏名殿

入夫ニ係ルモノハ先夫ノ男女子名生年月日及長二男女ノ區別ヲナシテ戸籍寫様ノモノヲ添付スルヲ要

ス若シ先夫ノ兒子ナキモノハ其旨ヲ届書ノ但書トスヘシ

島根縣訓令第百六十號 明治廿四年十一月四日

島根縣訓令第百六十號 明治廿四年十一月四日

明治二十三年三月訓令第七十號陸軍豫備後備下士卒及歸休兵事務取扱心得第十三條(左ノ一項ヲ增加シ及全

但結婚願書ハ二通差出サシムヘシ

島根縣訓令第六號 明治廿五年一月十六日

明治二十三年三月訓令第七十號陸軍豫備後備下士兵卒及歸休兵事務取扱心得第七條(左ノ一項ヲ增加シ及全

得婚姻證書ノ入夫ニ係ルモノ云々ノ事項ヲ刪除ス

養子ノ入夫ノ分家ノ絶家ノ廢家再興ノ復籍ノ等ノ異動届ニハ戸籍寫ヲ添付セシムヘシ

島根縣訓令第百七號 明治廿六年十月九日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

島根縣訓令第百四十一號 明治二十六年十二月二十八日

徴兵事務 兵學 兵備後備兵



明治二十三年三月本縣訓令第七十號別冊陸軍預備後備下士兵卒歸休兵事務取扱心得第七條復姓改名ノ次ヘ左ノ一項ヲ加ヘ第九條中「第七條ノ異動其他」ノ八字及「若クハ記入」ノ五字ヲ刪ル

同戶籍内ノ父母祖父母兄弟姉妹ノ異動

●島根縣訓令第十六號 明治二十八年二月五日

戶長役場 町村役場  
島根 郡役所 市役所

明治二十三年三月本縣訓令第七十號陸軍預備後備下士兵卒及歸休兵事務取扱心得中左ノ通追加ス

第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ現行第八條ヲ第九條トシ以下順次繰下ク

第八條、預備後備下士兵卒及歸休兵ニシテ召集中前條ノ異動ノ生シタルトキハ其戶主本人ハ其ノ親族ニシテ戶長町村長ヲ經テ監視區長ヘ届出シムヘシ

但本人戶主ニシテ親族ナキモノハ市長戶長町村長ヨリ其異動ヲ監視區長ヘ通報スヘシ

兵籍上異動届式中本人氏名ノ次ヘ左ノ四十七字ヲ加フ

### 兵籍名簿

●乙第百三十五號 明治十八年十月八日 郡役所 戶長役場

兵籍名簿書式別紙之通相定候條漸次右ニ依リ改製スヘシ此旨相違候事

(第一書式) (用紙美濃常用野紙)以下倣之

何々名簿

何郡役所(何郡何町何村) 戶長役場

十九年乙第  
十七年乙第  
十六年乙第  
十五年乙第  
十四年乙第  
十三年乙第  
十二年乙第  
十一年乙第  
十年乙第  
九年乙第  
八年乙第  
七年乙第  
六年乙第  
五年乙第  
四年乙第  
三年乙第  
二年乙第  
一年乙第

十八年	近歩	第何番	一等卒	何	村	平民	文久何年	某	何
全上	明治何年何月何日入營	明治何年何月何日除隊	依リ第一種備後員編入				何月何日生	二男	某
全	近砲	第何番	等卒	何	町	族無	文久何年	戶主	何
全上	明治何年何月何日家事故障	依リ第一種備後員編入					何月何日生		某
全上	鐵歩	第何番	上等卒	何					
全上	明治何年何月何日除隊	依リ第一種備後員編入							
全	鐵騎								
全上	明治何年何月何日入營	依リ第一種備後員編入							
全	鐵騎								
全上	明治何年何月何日逃亡	又ハ歸來							
全上	海水								
全上									

何郡役所(何郡何町何村) 戶長役場

安政何年 某

何月何日生 某

何 某

第六類 兵籍名簿



明治何年何月何日	後備役	明治何年何月何日	後備役	明治何年何月何日	後備役	明治何年何月何日	後備役
何年十官學	騎兵大尉	何	村士族	何々何年	戸主	何	某
校生徒	豫備役	何	村士族	何々何日生	弟	何	某
明治何年何月何日	豫備役	何	村士族	何々何日生	弟	何	某
何年幼年學	步兵中尉	何	村士族	何々何日生	弟	何	某
校生徒	步兵中尉	何	村平民	何々何日生	弟	何	某
明治何年何月何日	步兵中尉	何	村平民	何々何日生	弟	何	某
何年徵兵	步兵軍曹	何	村平民	何々何日生	弟	何	某
明治何年何月何日	步兵軍曹	何	村平民	何々何日生	弟	何	某
何年海軍士官學校生徒	海軍中尉	何	村平民	何々何日生	弟	何	某
何年海軍士官學校生徒	海軍中尉	何	村平民	何々何日生	弟	何	某
(第三書式)							
陸海軍生徒名簿							
何年何月何日	陸海軍生徒	何	村士族	何郡役所(何郡何村)	何	何	某
明治何年何月何日	陸海軍生徒	何	村士族	安政何年	何	何	某
何年徵兵	全	何	町平民商	何月何日生	弟	何	某

全上	何年教導團生徒	何	村平民農	何	何	何	何
何年教導團生徒	士官學校生徒	何	村平民農	何	何	何	何
何年何月何日	士官學校幼生	何	村平民農	何	何	何	何
明治何年何月何日	士官學校幼生	何	村平民農	何	何	何	何
何年何月何日	戸山學校生徒	何	村平民農	何	何	何	何
明治何年何月何日	戸山學校生徒	何	村平民農	何	何	何	何

●第六類 ○兵事 (兵籍名簿)

名籍名簿調製方心得

一現役 豫備役 後備兵役 補充員 第一豫備徵員ノ五名簿ハ各第一書式ニ陸海軍將校下士並豫備役後備軍醫ハ一單ニ武官名簿トシ第二書式ニ陸海軍諸學校生徒ハ第三書式ニヨリ調製スヘシ

一第一書式名簿登記順序ハ近衛鎮遠海軍諸兵トシ又其内兵種別ハ步兵騎兵砲兵工兵補重兵雜卒トモ郡役所ハ一郡毎ニ戸役長場ハ一役場ヲ連接シ抽籤番號順ニ記シ年度毎ニ用紙ヲ別ニシ余白ヲ存スヘシ尤名簿調製後異動アリテ他ヨリ編入スルモノアルトキハ年度末ニ登記スヘシ

但補重輪卒ノ名簿ハ別冊ニ編纂スヘシ

一現役兵ニシテ豫備役ニ編入ノモノハ現役名簿式ノ如ク失消シ豫備役名簿ニ移スヘシ豫備役ニシテ後備兵役ニ編入ノモノ亦同シ但補充員ニシテ第一豫備徵員ニ編入ノモノハ年月日第一豫備徵員ニ編入ノ旨ヲ記シ其儘該名簿ニ編冊スルモ妨ケナシ



一國民兵名簿ハ徵兵事務條例第九式ニ依リ調製シ且屋敷番號ヲ記入スヘシ  
一逃亡失踪及短尺病氣又ハ入營延期等ニテ翌年回ノ者ハ徵兵事務條例第八式ニ依リ種類及年トノ區分シ一冊ヲ調製スヘシ

一第一書式ニ近歩トアルハ近衛歩兵隊騎トアルハ鐵道騎兵ト知ルヘシ余ハ之ニ倣フ又各姓名記取ノ次序同登載ノ事柄ハ其一班ヲ示セルモノニシテ實際ニ當リテハ身上ノ異動其他一切ノ事故ヲ登記スヘキモノトス

●乙第七十二號 明治十九年五月二十一日 郡役所 戶長役場  
明治十八年十月本縣乙第七十二號連兵籍名簿調製方心得末項ヘ左ノ項目ヲ追加スル旨相違候事

一第一書式ノ空欄ヘハ豫備後備兵ハ本人居住地ヨリ廣島縣ニ至ル里程及召參旅費金額ヲ併記シ現役兵ニテ入營中ノモノハ除キテ又ハ鐵道營名ヲ記入スヘシ  
一補充員及第一豫備徵兵名簿ハ第一書式ノ空欄ヲ要セス

一第二書式族籍ノ下空欄ヘハ奉仕ノ兵營或ハ官衙ノ名ヲ記入スヘシ  
一第三書式ノ空欄ヘハ本人專修ノ兵科ヲ記入スヘシ  
一勲等位階アル者ハ總テ本人姓名ノ右方ヨリ書スヘシ

●訓令第百六十二號 明治二十年六月二十日 郡役所 戶長役場  
明治十八年十月乙第七十二號連兵籍名簿調製方心得第七項中「職階大」トアルヲ「職階或ハ大」ト改ム

●訓令第六十七號 明治廿二年四月一日 島 郡役所 市役所  
明治十八年十月乙第七十二號連兵籍名簿調製方心得第七項中「職階大」トアルヲ「職階或ハ大」ト改ム  
但明治十九年十月乙第七十四號連兵籍名簿調製方心得第一項一行目ノ「補充員」第一豫備徵兵ニテ(別紙)

第一書式中「鐵步」「鐵騎」ヲ「師步」「師騎」ニ改ム名簿調製方心得第一項一行目ノ「補充員」第一豫備徵兵ニテ(別紙)

一市役所 戶長役場及町村役場ノ兵籍名簿ノ異動ハ戶籍上ノ届出其他ノ届ニヨリ直ニ加除訂正スヘシ但其異動ハ戶長ハ島司ニ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

一兵籍名簿ノ住所市町村ニハ明治二十二年三月本縣告示第三十八號ノ大字ヲ記入スヘシ

●訓令第百二十二號 明治二十三年五月一日 島 郡役所 市役所  
明治十八年十月乙第七十二號連兵籍名簿調製方心得第五項中及ノ下ニ臨時ノ二字ヲ追加ス

●訓令第百九十六號 明治二十二年十月十六日 島 郡役所 戶長役場  
明治十八年十月乙第七十二號連兵籍名簿調製方心得第五項中及ノ下ニ臨時ノ二字ヲ追加ス

兵籍名簿ノ加除訂正ヲ要スル兵員ノ異動ニシテ明治二十二年十月縣令第百十七號及訓令第百九十五號ヨリ取扱フモノニアリテハ該屆書若シハ通知書ニヨリ直ニ加除訂正スヘシ

但本文ニ該ルモノハ明治十八年十月乙第七十二號連兵籍名簿調製方心得第九項但書ノ報告ヲナスコト及ハス

●第百九十八號 明治七年四月十四日 府 縣  
第一號

第六類 兵事 C兵籍名簿 一七三















第二章 組合ヲ定メ組長ヲ設置スル事

- 第一條 凡ソ町村ハ數戸ヲ聯結シテ必ス組合ヲ設クヘシ其編制方法ハ該町村會ニ於テ決定スヘシ
  - 第二條 組中組長ヲ置ト否ト及其配置ノ方法ハ該町村會ニ於テ決定スヘシ
  - 第三條 組長ハ其組内ノ公撰ナルヘシ其給料及雜費ノ類ニ關シテハ該組内ノ協議ニ任ス
  - 第四條 組長ハ其組内ノ諸賦納ヲ爲スモノトス
- 附第百號  
明治十五年五月十三日  
本年甲第二十號布達第一章第四條第一條形中戸長以下ノ朱字刪除候條戸長ハ番號札ノ外左之離形ニ據リ標札ヲ掲クヘシ此旨布達候事

曲尺 壹尺

木札

某町 戸長 何條 某

番號札

●乙第十二號 明治十五年二月十三日

郡町村

今般甲第二十號ヲ以テ戶籍番號改正並組合編制等ノ義務布達候ニ付戸長ニ於テハ左ノ手續ニ據リ速ニ實施方取計整理ノ上其旨郡役所ヘ届出郡役所ニ於テハ一郡整理ノ上其旨開申可致此旨相達候事

戶籍番號改正並組合編制組長設置手續

- 一 戶籍番號願ハ可成從來ノ順次ヲ逐ヒ記番戶籍簿ノ扉番朱字ヲ以テ改記シ其番號ヲ各戸ニ通告標札貼付セシムヘシ

第二十號訓令  
第六十號  
第四十號  
百九號  
廿八號  
廿六號  
第六十八號

從來貼付セル番號札今般達寸法ニ適合スルモノハ白前直ニ取用ユルハ適宜ナルヘシ

- 一 官衙以下常住者ナキ屋舎ハ其番號ヲ定メ標札貼付方ヲ通告スヘシ
- 一 地租改正ニ際シ地所ヲ轉付シ戶籍ノミ舊ニ依リモノハ此際双方戸長商議ノ上速ニ戶籍面引直スヘシ
- 一 組合編制組長設置等ノ議ハ戸長ニ於テ立案其町村會ニ付スヘシ

●甲第百二十九號 明治十七年九月十二日

明治十五年ニ本縣甲第二十號布達第二章第一條第二條其他右ニ類スルモノ自今町村會ニ付テハ渾テ該町村人ノ協議ニ任ス

右布達候事

●縣令第三十二號 明治二十二年三月二十九日

明治二十二年四月一日以后松江市並今般合併町村ニ係リ戶籍番號ハ大字村名ヲ其冒頭ニ冠フシムヘシ

戶籍登記

●訓令第六十八號 明治十九年十一月六日 郡役所 戶長役場

今般內務省令第二十二號戶籍取扱手續發布ニヨリ戶籍登記書式等別紙之通相定ム

戶籍登記書式 第一

何年何月何日何十何番地ニ移ル	書式中心印ハ朱字又ハ朱線
何年何月何日何十何番地ニ移ル	族一何年何日何日華族ニ列セラル
何年何月何日何十何番地ニ移ル	前戸主 亡父氏名
何年何月何日何十何番地ニ移ル	父名長男

何年何月何日何十何番地ニ移ル

何年何月何日何十何番地ニ移ル

何年何月何日何十何番地ニ移ル

何年何月何日何十何番地ニ移ル

●第六號 戶籍 ●戶籍 ●戶籍 ●戶籍

一八一











何年何月何日何縣何郡何町士族氏名方へ離婚復婚ス

何年何月何日何縣何郡何町士族氏名方へ離婚復婚ス		何年何月何日何府何區何町平民氏名長男名妻離婚ニ付復婚		何年何月何日養子名妻ト爲ル		何年何月何日同縣同郡何村平民氏名二男人籍ス	
婚	孫	長	女	養	子		
↑名	何年何月何日生	長男名長男	何年何月何日生	養子名妻	何年何月何日生	名	何年何月何日生

備考 願濟又ハ確定裁判言渡ニ係ル事項ハ何年何月何日願濟云々又ハ何年何月何日何地何裁判所裁判言渡云々ト記ス

朱線ハ除籍又ハ氏名身分變換又ハ訂正ヲ登記スルトキニ書スルモノトス

戶籍登記書式 第二

何府何郡何町		何年何月何日何町何番地先ニ於テ拾上		何年何月何日何町平民氏名養子ト爲ル		何年何月何日何町通何處ニ於テ拾上		何年何月何日何縣何郡何村平民氏名引受ト爲ル	
		棄		兒		棄			
		↑氏 名		↑氏 名		推測何年何月生		↑氏 名	



入寄留簿登記書式 第一 何縣何郡何町何番地持家寄留											
本縣何郡何町何番地 士族											兒
推測何年何日生											

何年何月何日全戶寄留爲出																							
何年何月何日退去爲出																							
何年何月何日寄留爲出																							
妻			妹			母			主			戶											
名			何年何月何日生			亡父名長女			何年何月何日生			亡父名妻			何年何月何日生			氏名			亡父名二男		



●第一類 ○戶籍 ○戶籍登記

何年何月何日退去届出④				何年何月何日寄留届出④			
△				△			
女 長 名		女 二 名		妻 名		主 帶	
何年何月何日生		↑ 名 一		何年何月何日生		何年何月何日生	
名		名		名		名	

何年何月何日出生何年何月何日届出④				何年何月何日退去届出④			
△				△			
男 長		男		女 長		女	
何年何月何日生		何年何月何日生		何年何月何日生		何年何月何日生	
名		名		名		名	

備考 他府縣人入寄留簿ノ本籍ハ何府縣何郡區何町村何番地ト記シ他郡區人入寄留簿ノ本籍ハ何郡區何町村何番地ト記ス  
 入寄留簿登記書式 第二

本籍何縣何郡何村何番地  
 平民戶主氏名  
 何年何月何日妻外一名携帶寄留届出④  
 世 父名二男



